

6 在宅介護実態調査

調査結果の留意点

- 報告書作成にあたり「厚生労働省老健局介護保険計画課 在宅介護実態調査自動集計分析ソフト」を用いて介護保険認定データと突合できた619人を母数として集計・分析を行った。
- 本文中の「サービスの利用回数」は、認定調査を行った月のサービスの利用回数または、認定調査を行った月の利用状況が通常の場合と異なる場合は、直近の月のサービス利用回数である。
- サービスの利用回数・組み合わせ等に着目した集計・分析に係る用語の定義は以下のとおりである。

<サービス利用の分析に用いた用語の定義>

| 用語 | 定義 | |
|-----|--|---------------------------------------|
| 未利用 | ・「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、「未利用」として集計している。 | |
| 訪問系 | ・（介護予防）訪問介護、（介護予防）訪問入浴介護、（介護予防）訪問看護、（介護予防）訪問リハビリテーション、（介護予防）居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計している。 | |
| 通所系 | ・（介護予防）通所介護、（介護予防）通所リハビリテーション、（介護予防）認知症対応型通所介護を「通所系」として集計している。 | |
| 短期系 | ・（介護予防）短期入所生活介護、（介護予防）短期入所療養介護を「短期系」として集計している。 | |
| その他 | 小規模多機能 | ・（介護予防）小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計している。 |
| | 看護多機能 | ・看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計している。 |
| | 定期巡回 | ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計している。 |

<サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義>

| 用語 | 定義 |
|-----------------|---|
| 未利用 | ・上表に同じ |
| 訪問系のみ | ・上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計している。 |
| 訪問系を含む 組み合わせ | ・上表の「訪問系（もしくは定期巡回）」+「通所系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」+「短期系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」+「通所系」+「短期系」、「小規模多機能」、「看護多機能」の利用を集計している。 |
| 通所系・短期系のみ | ・上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」+「短期系」の利用を集計している。 |

※ 本報告書中、「1 調査結果の詳細（単純集計結果）」における「(8)障害高齢者の日常生活自立度」及び「(9)認知症高齢者の日常生活自立度」の合計値は、新型コロナウイルス感染症にかかる要介護認定の臨時的な取り扱いについて(令和2年2月18日厚生労働省老健局老人保健課事務連絡)により、一部認定調査を行っておらず、日常生活自立度が判定できないため、調査対象者619名とは一致しない。

6 在宅介護実態調査

< 障害高齢者の日常生活自立度 >

| 用語 | 説明 | |
|----|--|-------------------------------|
| J | 何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。 | |
| | J 1 | 交通機関等を利用して外出する。 |
| | J 2 | 隣近所へなら外出する。 |
| A | 屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。 | |
| | A 1 | 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。 |
| | A 2 | 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。 |
| B | 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ。 | |
| | B 1 | 車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。 |
| | B 2 | 介助により車いすに移乗する。 |
| C | 1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する。 | |
| | C 1 | 自力で寝返りをうつ。 |
| | C 2 | 自力では寝返りもうてない。 |

< 認知症高齢者の日常生活自立度 >

| 用語 | 説明 | |
|-----|---|------------------------|
| I | 何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。 | |
| II | 日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。 | |
| | II a | 家庭外で上記IIの状態が見られる。 |
| | II b | 家庭内でも上記IIの状態が見られる。 |
| III | 日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。 | |
| | III a | 日中を中心として上記IIIの状態が見られる。 |
| | III b | 夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。 |
| IV | 日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。 | |
| M | 著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。 | |

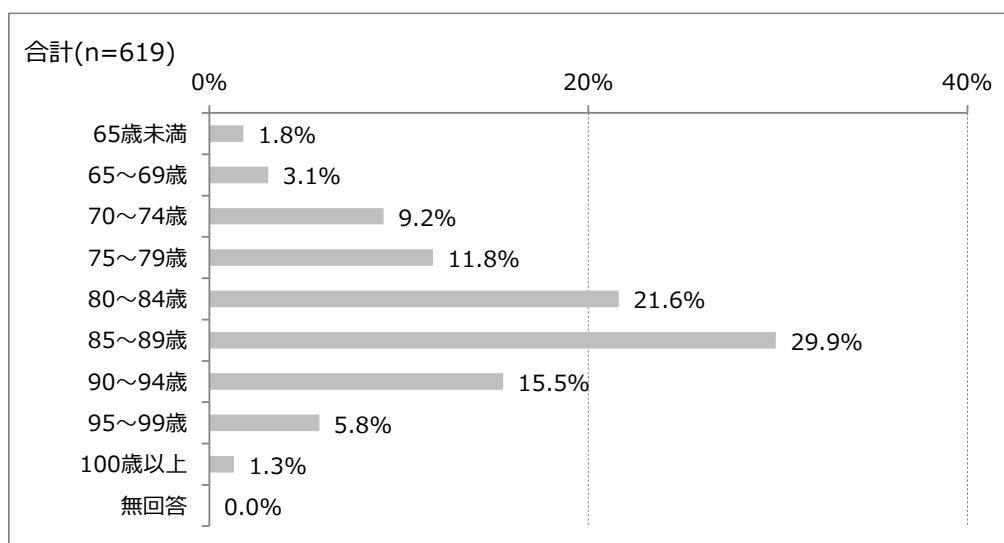
1 調査結果の詳細(単純集計結果)

要介護認定データ

(1) 年齢

調査対象者の年齢は、「85～89歳」の割合が最も高く29.9%となっている。次いで、「80～84歳 (21.6%)」、「90～94歳 (15.5%)」となっている。

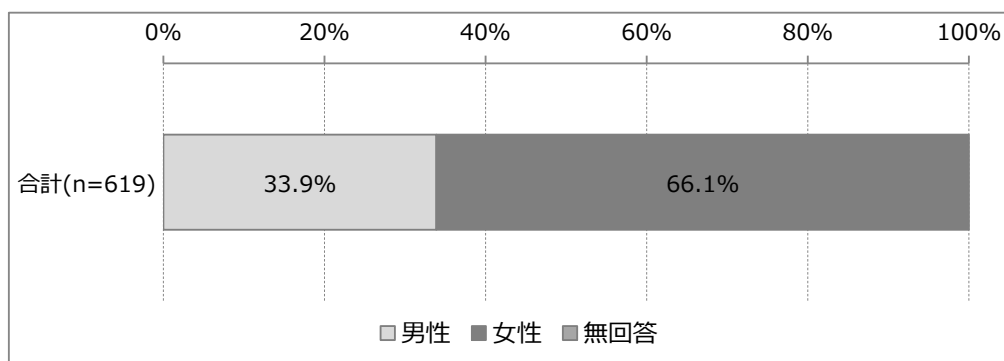
【図表 318】 年齢



(2) 性別

「男性」33.9%、「女性」66.1%となっている。

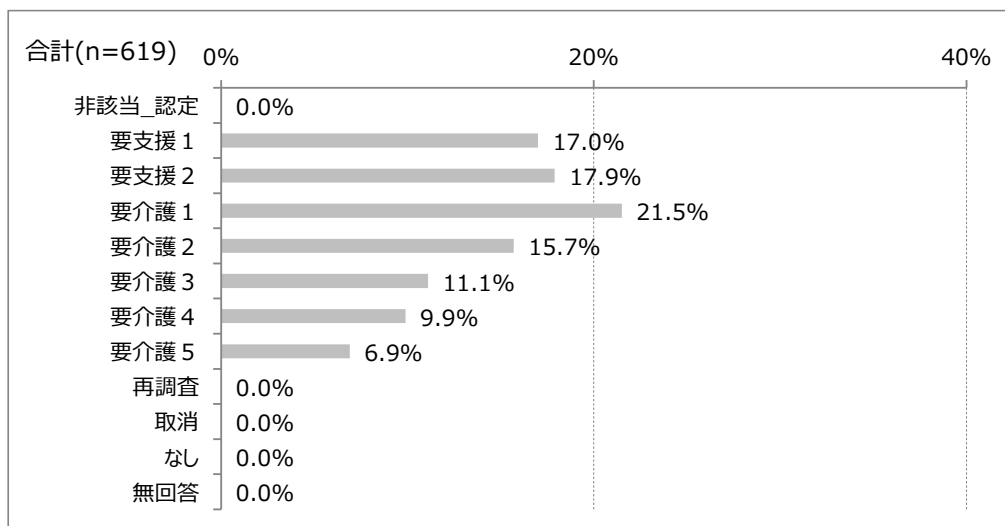
【図表 319】 性別



(3) 二次判定結果(要介護度)

「要介護1」の割合が最も高く21.5%となっている。次いで、「要支援2（17.9%）」、「要支援1（17.0%）」となっている。

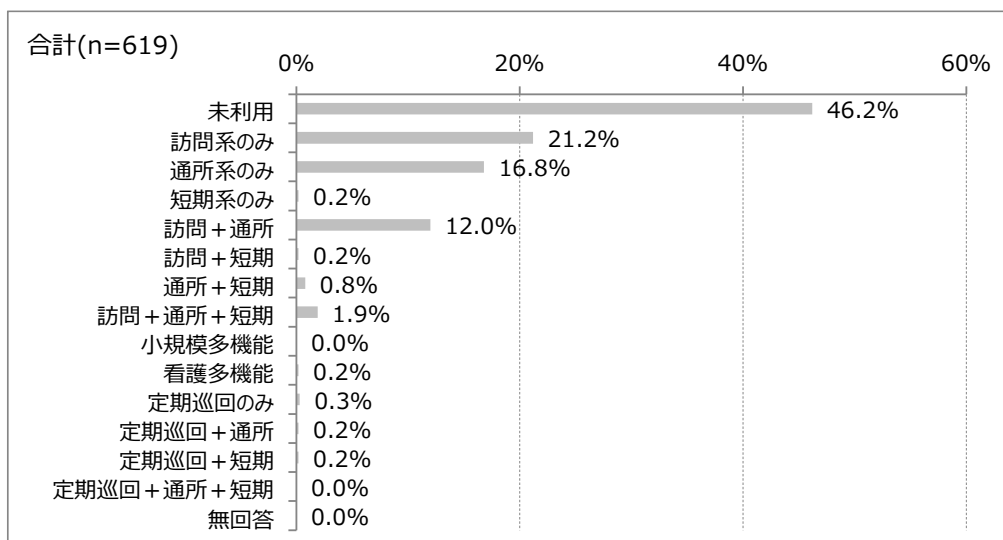
【図表 320】 要介護度



(4) サービス利用の組み合わせ

「未利用」の割合が最も高く46.2%となっている。次いで、「訪問系のみ（21.2%）」、「通所系のみ（16.8%）」となっている。

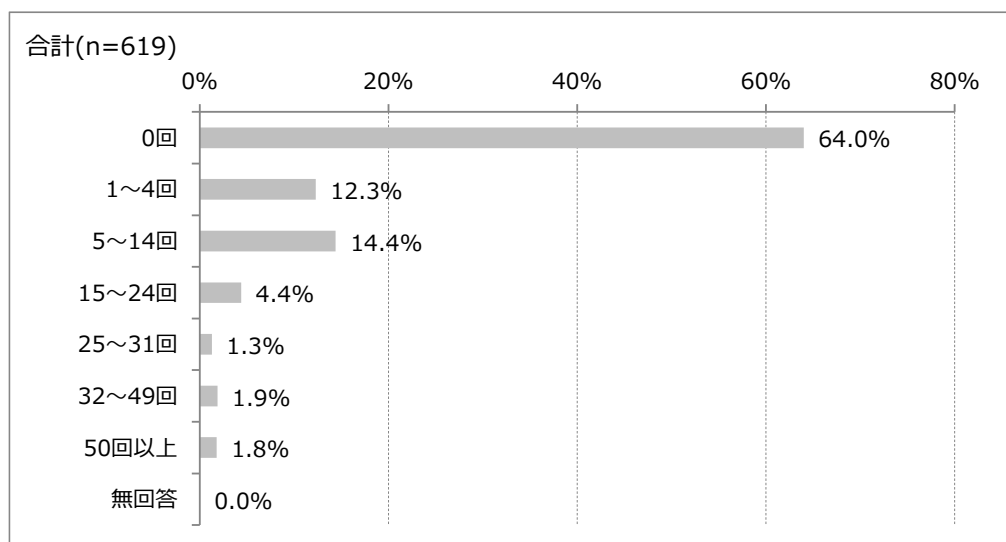
【図表 321】 サービス利用の組み合わせ



(5) 訪問系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く64.0%となっている。次いで、「5～14回(14.4%)」、「1～4回(12.3%)」となっている。

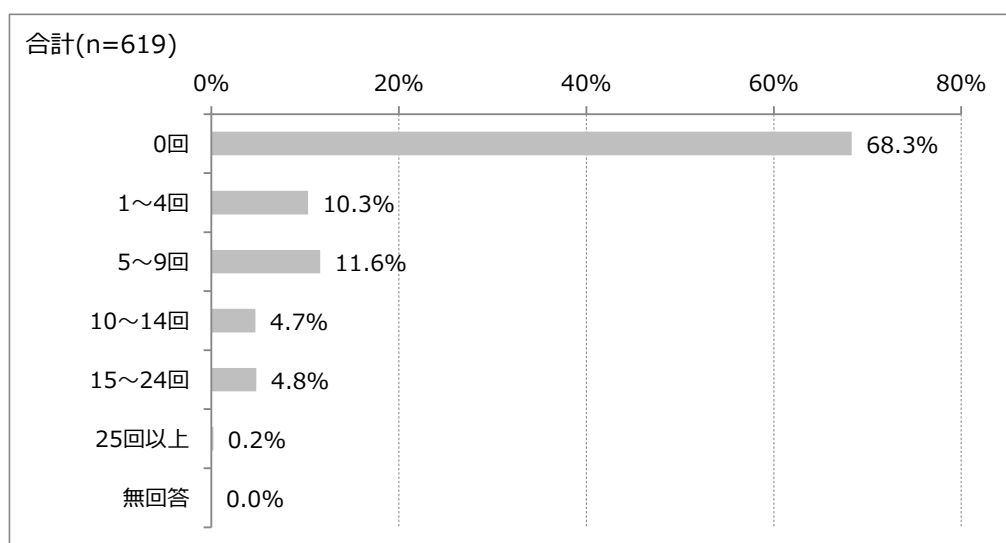
【図表 322】 サービスの利用回数（訪問系）



(6) 通所系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く68.3%となっている。次いで、「5～9回(11.6%)」、「1～4回(10.3%)」となっている。

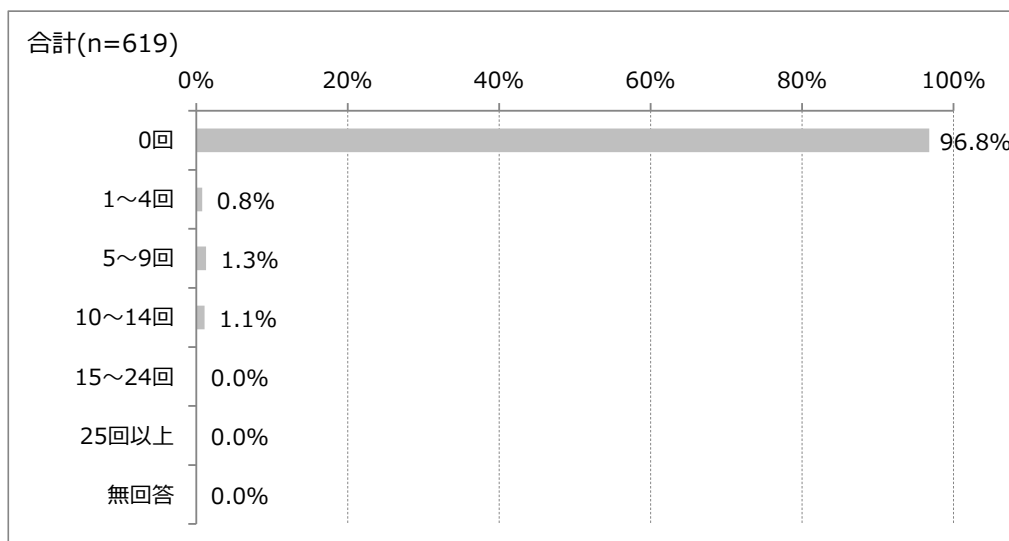
【図表 323】 サービスの利用回数（通所系）



(7) 短期系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く96.8%となっている。次いで、「5～9回(1.3%)」、「10～14回(1.1%)」となっている。

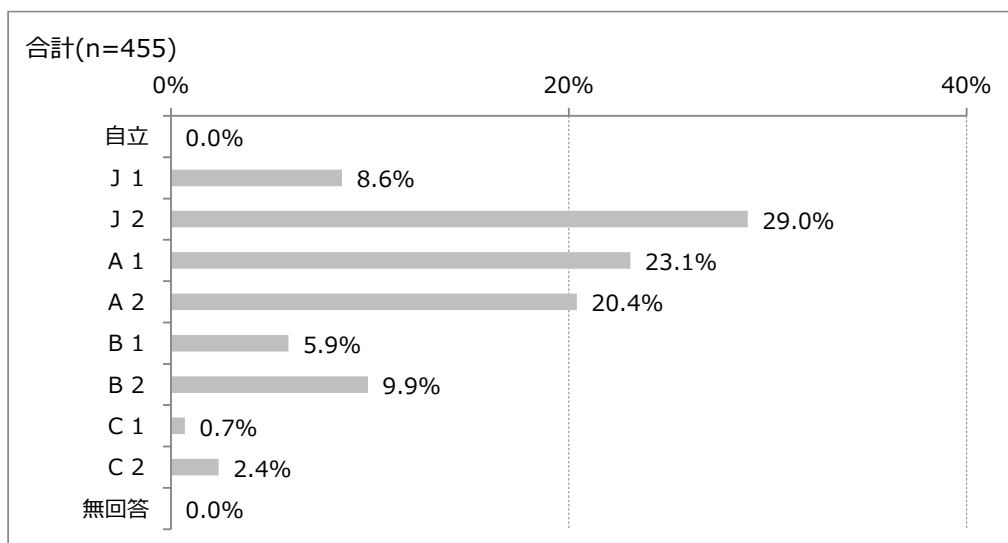
【図表 324】 サービスの利用回数（短期系）



(8) 障害高齢者の日常生活自立度

「J 2」の割合が最も高く29.0%となっている。次いで、「A 1 (23.1%)」、「A 2 (20.4%)」となっている。

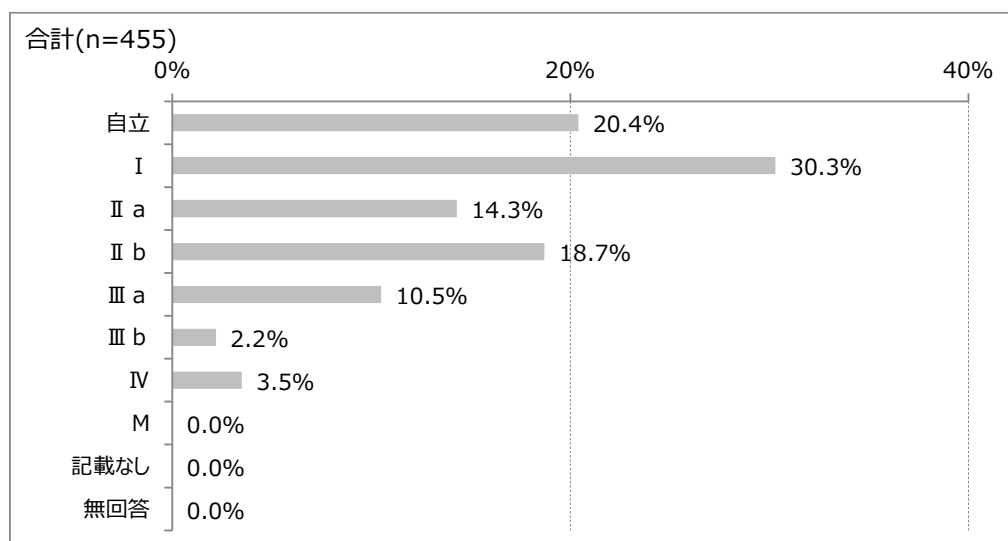
【図表 325】 障害高齢者の日常生活自立度



(9) 認知症高齢者の日常生活自立度

「I」の割合が最も高く30.3%となっている。次いで、「自立（20.4%）」、「II b（18.7%）」となっている。

【図表 326】 認知症高齢者の日常生活自立度

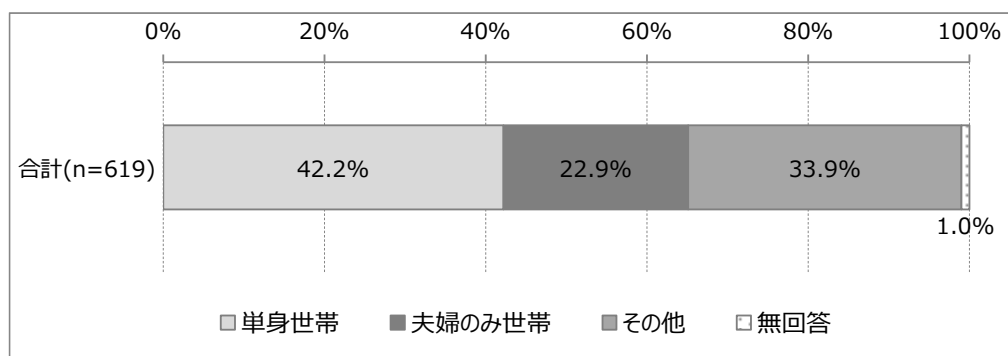


基本調査項目（A票）

（1）世帯類型

「単身世帯」の割合が最も高く42.2%となっている。次いで、「その他（33.9%）」、「夫婦のみ世帯（22.9%）」となっている。

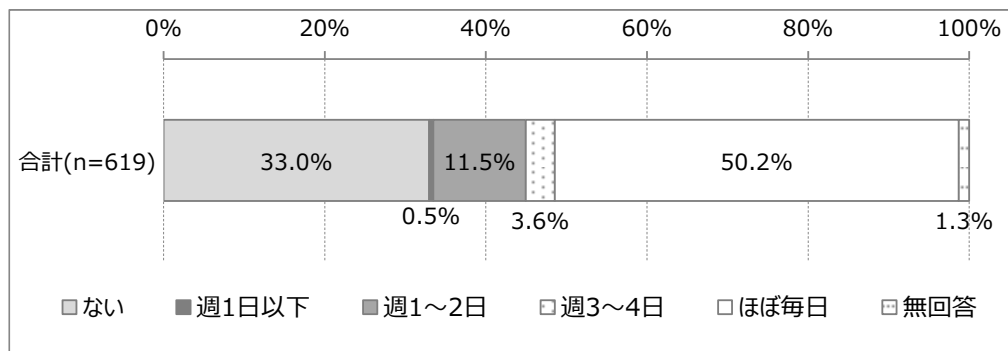
【図表 327】世帯類型



（2）家族等による介護の頻度

「ほぼ毎日」の割合が最も高く50.2%となっている。次いで、「ない（33.0%）」、「週1～2日（11.5%）」となっている。

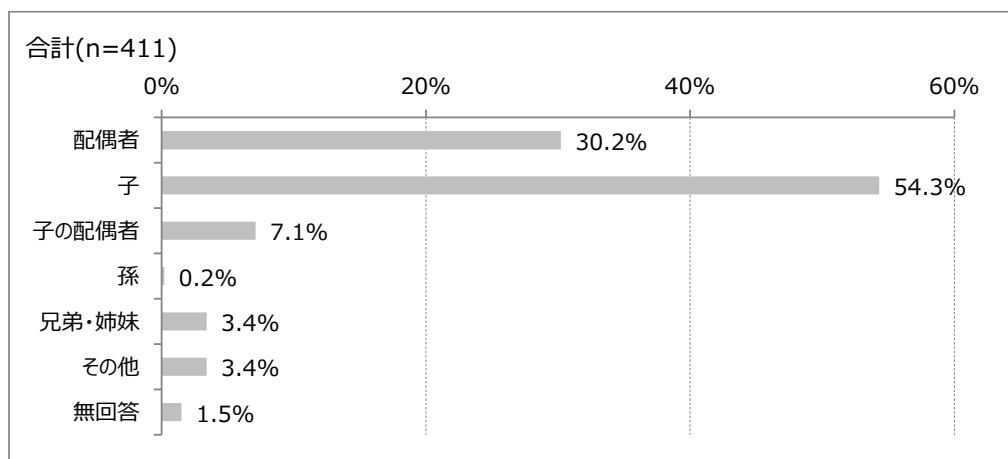
【図表 328】家族等による介護の頻度



(3) 主な介護者の本人との関係

「子」の割合が最も高く54.3%となっている。次いで、「配偶者(30.2%)」、「子の配偶者(7.1%)」となっている。

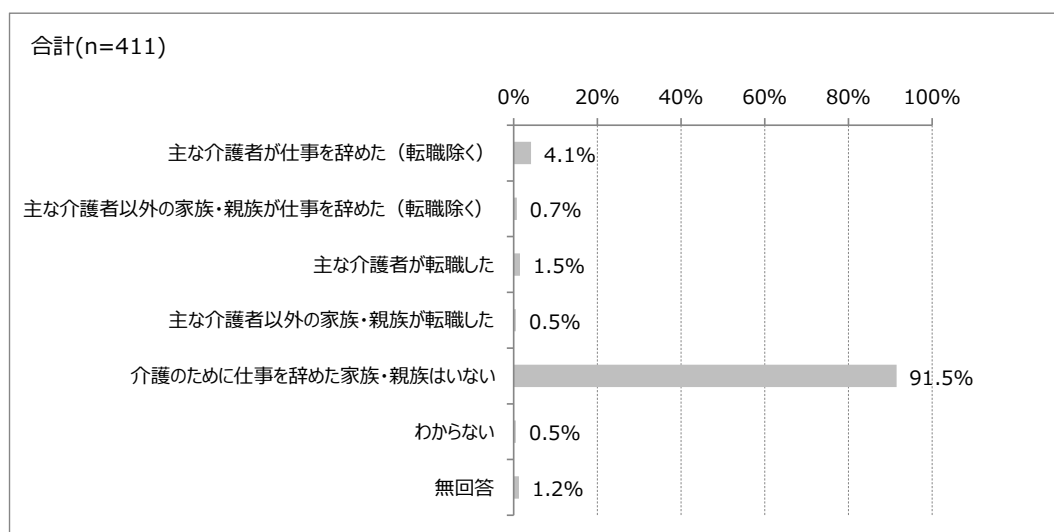
【図表 329】 主な介護者の本人との関係



(4) 介護のための離職の有無(複数回答)

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が最も高く91.5%となっている。次いで、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)(4.1%)」、「主な介護者が転職した(1.5%)」となっている。

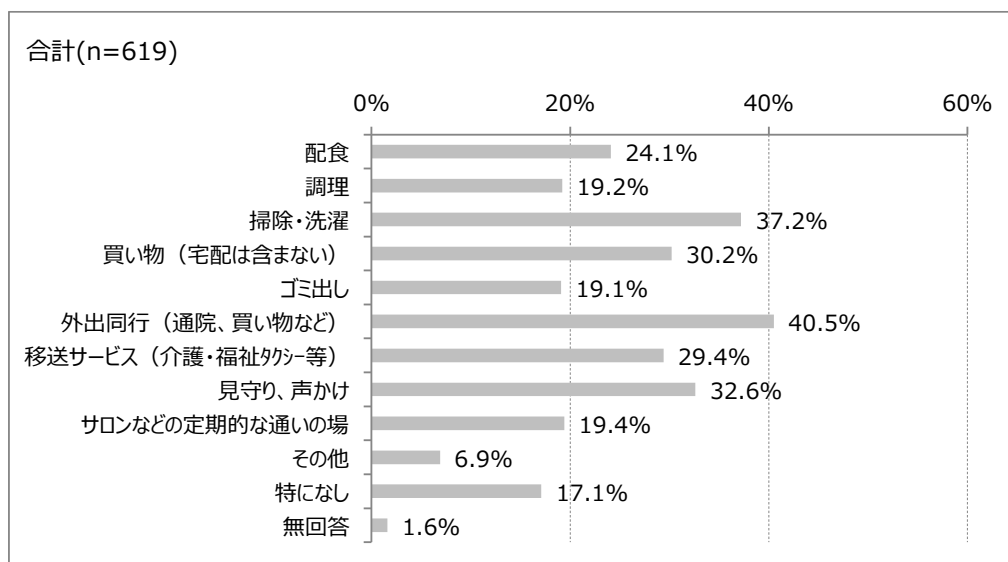
【図表 330】 介護のための離職の有無



(5) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス(複数回答)

「外出同行（通院、買い物など）」の割合が最も高く40.5%となっている。次いで、「掃除・洗濯（37.2%）」、「見守り、声かけ（32.6%）」となっている。

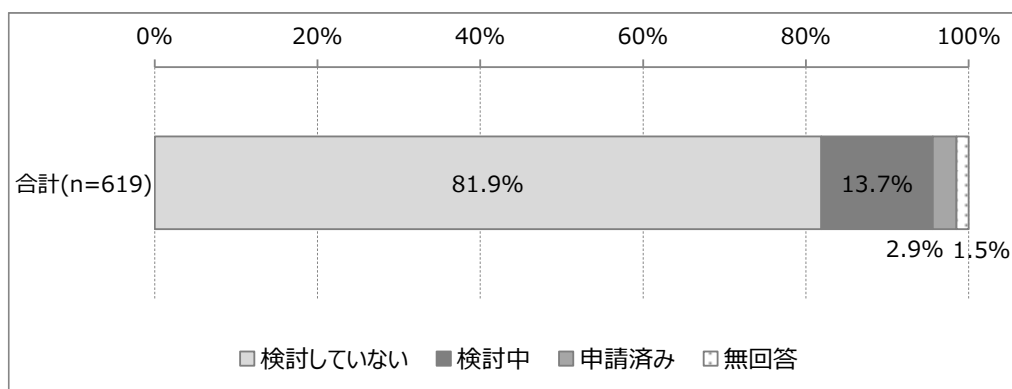
【図表 331】在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス



(6) 施設等検討の状況

「検討していない」の割合が最も高く81.9%となっている。次いで、「検討中（13.7%）」、「申請済み（2.9%）」となっている。

【図表 332】施設等検討の状況

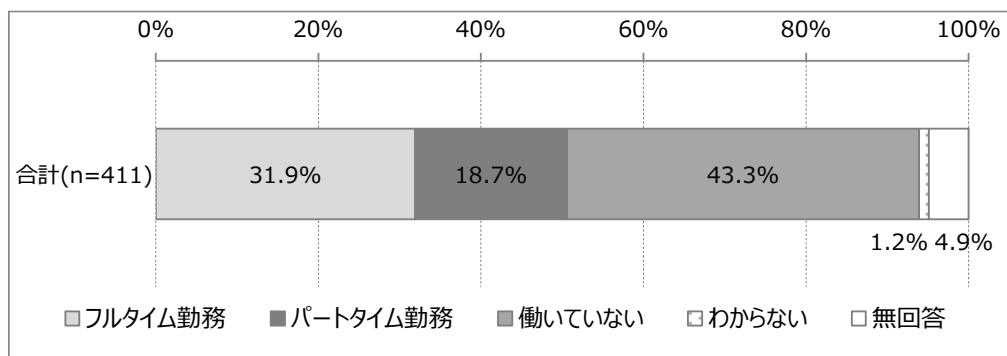


主な介護者様用の調査項目（B票）

(1) 主な介護者の勤務形態

「働いていない」の割合が最も高く43.3%となっている。次いで、「フルタイム勤務(31.9%)」、「パートタイム勤務(18.7%)」となっている。

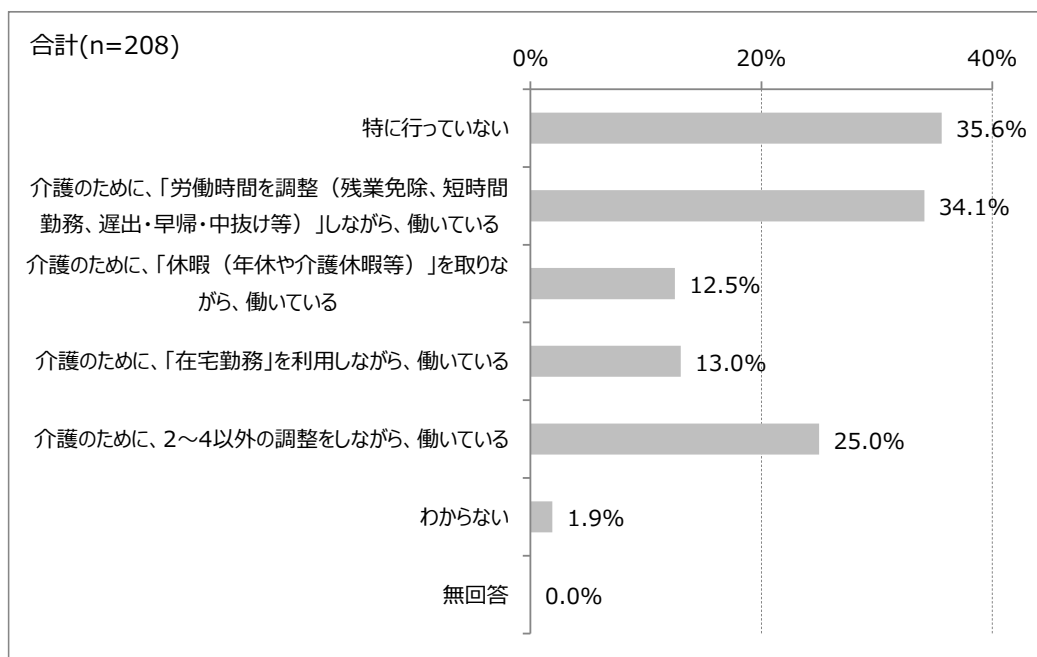
【図表 333】 主な介護者の勤務形態



(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況(複数回答)

「特に行っていない」の割合が最も高く35.6%となっている。次いで、「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている(34.1%)」、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている(25.0%)」となっている。

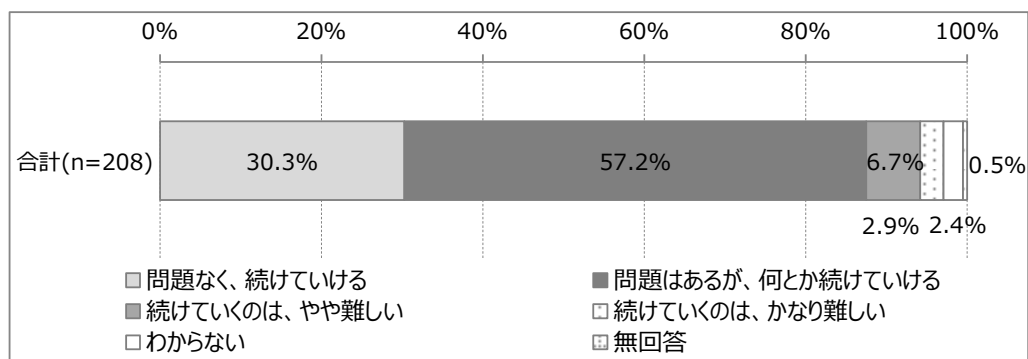
【図表 334】 主な介護者の働き方の調整状況



(3) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が最も高く57.2%となっている。次いで、「問題なく、続けていける (30.3%)」、「続けていくのは、やや難しい (6.7%)」となっている。

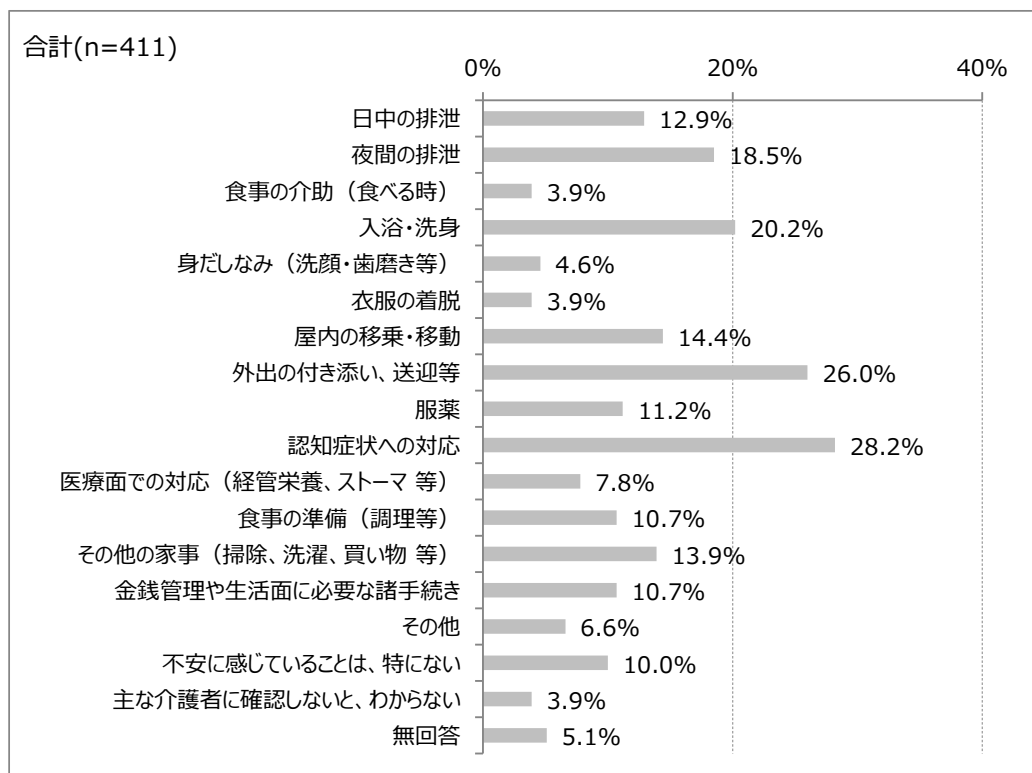
【図表 335】 主な介護者の就労継続の可否に係る意識



(4) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安を感じる介護(複数回答)

「認知症状への対応」の割合が最も高く28.2%となっている。次いで、「外出の付き添い、送迎等 (26.0%)」、「入浴・洗身 (20.2%)」となっている。

【図表 336】 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安を感じる介護



2 調査結果の詳細(クロス集計結果)

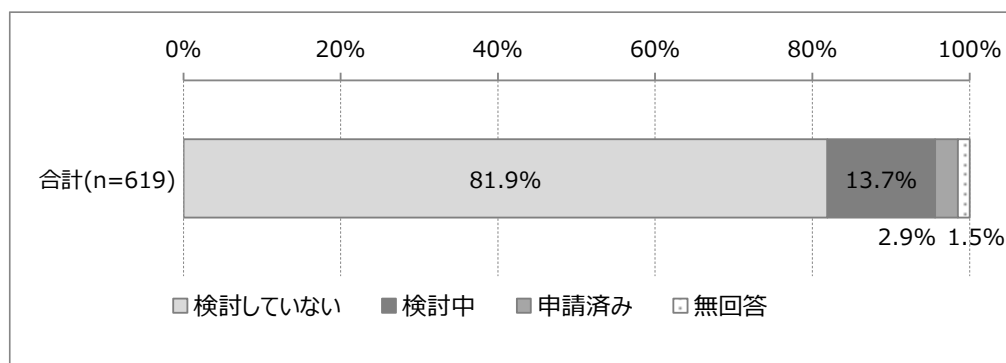
在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

(1) 基礎集計

【施設等検討の状況】

「検討していない」の割合が最も高く81.9%となっている。次いで、「検討中（13.7%）」、「申請済み（2.9%）」となっている。

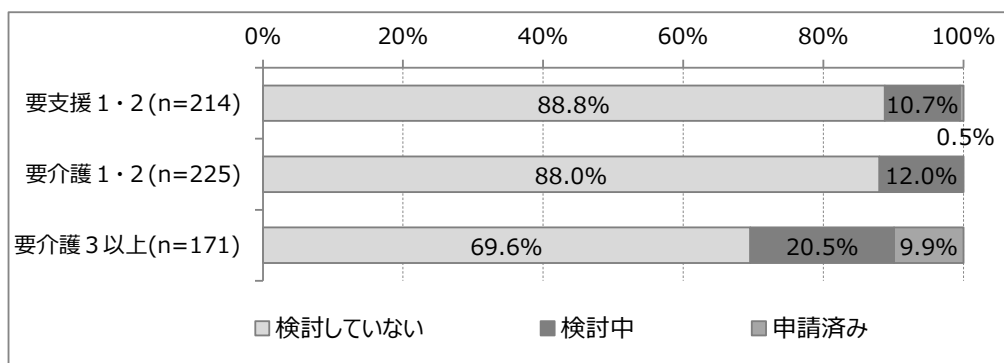
【図表 337】施設等検討の状況



【要介護度別・施設等検討の状況】

施設等の検討状況を二次判定結果(要介護度)別にみると、『要支援1・2』では「検討していない」が88.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が10.7%となっている。『要介護1・2』では「検討していない」が88.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が12.0%となっている。『要介護3以上』では「検討していない」が69.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が20.5%となっている。

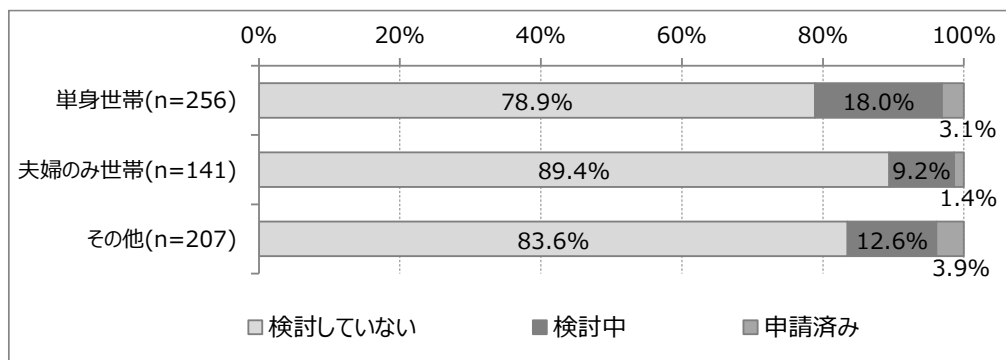
【図表 338】要介護度別・施設等検討の状況



【世帯類型別・施設等検討の状況】

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、『単身世帯』では「検討していない」が78.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が18.0%となっている。『夫婦のみ世帯』では「検討していない」が89.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が9.2%となっている。『その他』では「検討していない」が83.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が12.6%となっている。

【図表 339】世帯類型別・施設等検討の状況

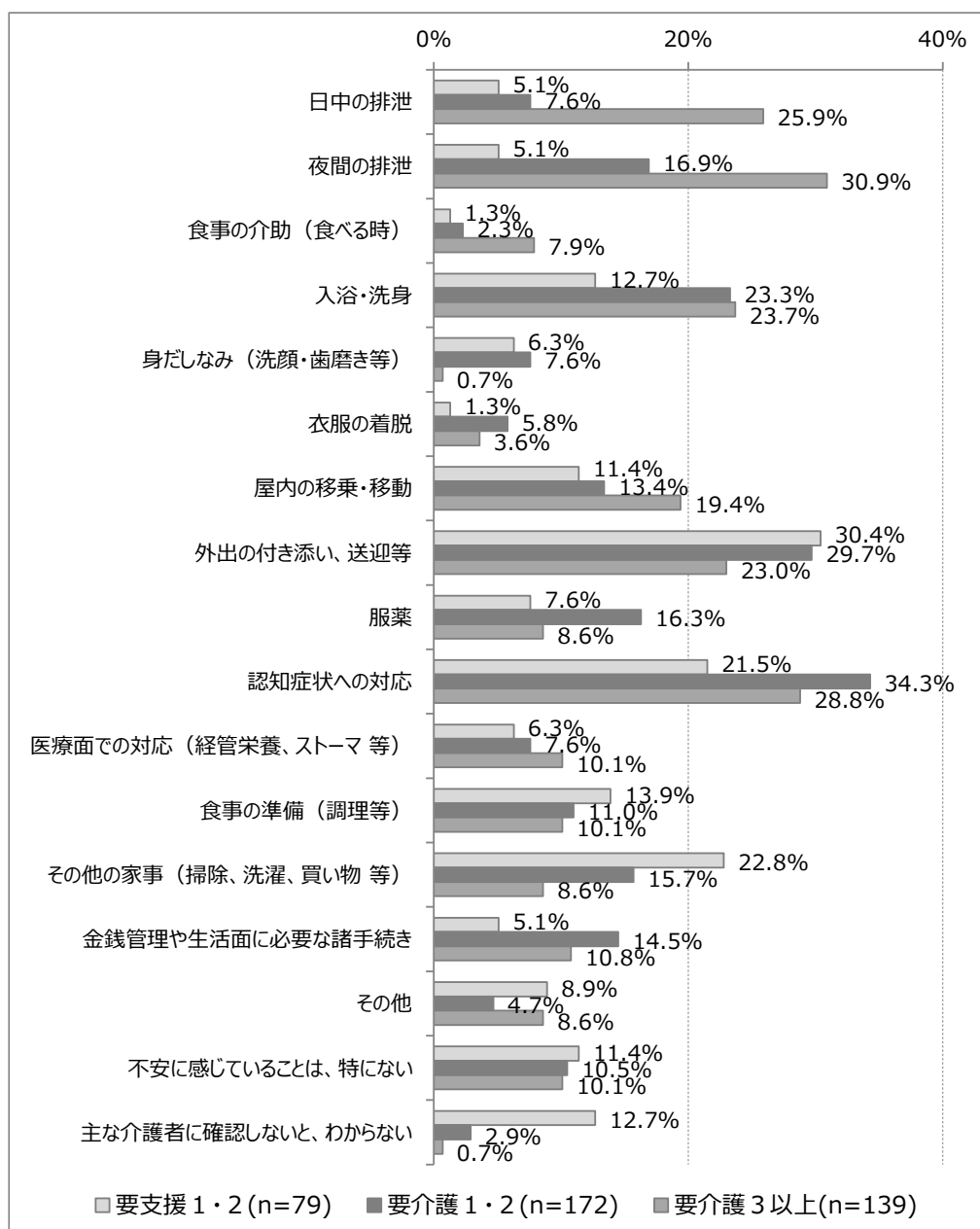


(2) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化

【要介護度別・介護者が不安に感じる介護】

介護者が不安に感じる介護を二次判定結果(要介護度)別にみると、『要支援1・2』では「外出の付き添い、送迎等」が30.4%と最も割合が高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が22.8%となっている。『要介護1・2』では「認知症状への対応」が34.3%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が29.7%となっている。『要介護3以上』では「夜間の排泄」が30.9%と最も割合が高く、次いで「認知症状への対応」が28.8%となっている。

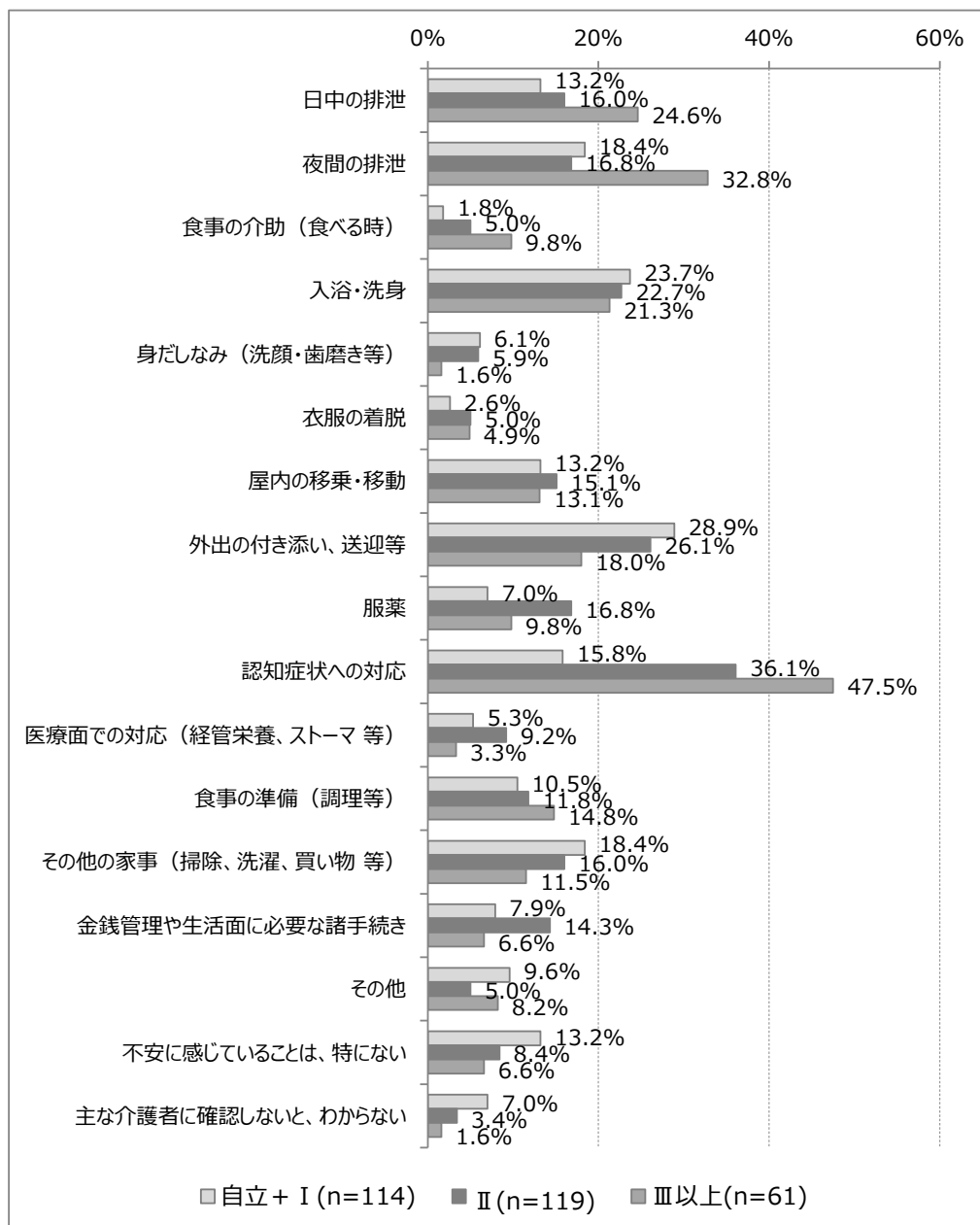
【図表 340】 要介護度別・介護者が不安に感じる介護



【認知症自立度別・介護者が不安を感じる介護】

介護者が不安を感じる介護を認知症高齢者自立度別にみると、『自立+ I』では「外出の付き添い、送迎等」が28.9%と最も割合が高く、次いで「入浴・洗身」が23.7%となっている。『II』では「認知症状への対応」が36.1%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が26.1%となっている。『III以上』では「認知症状への対応」が47.5%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が32.8%となっている。

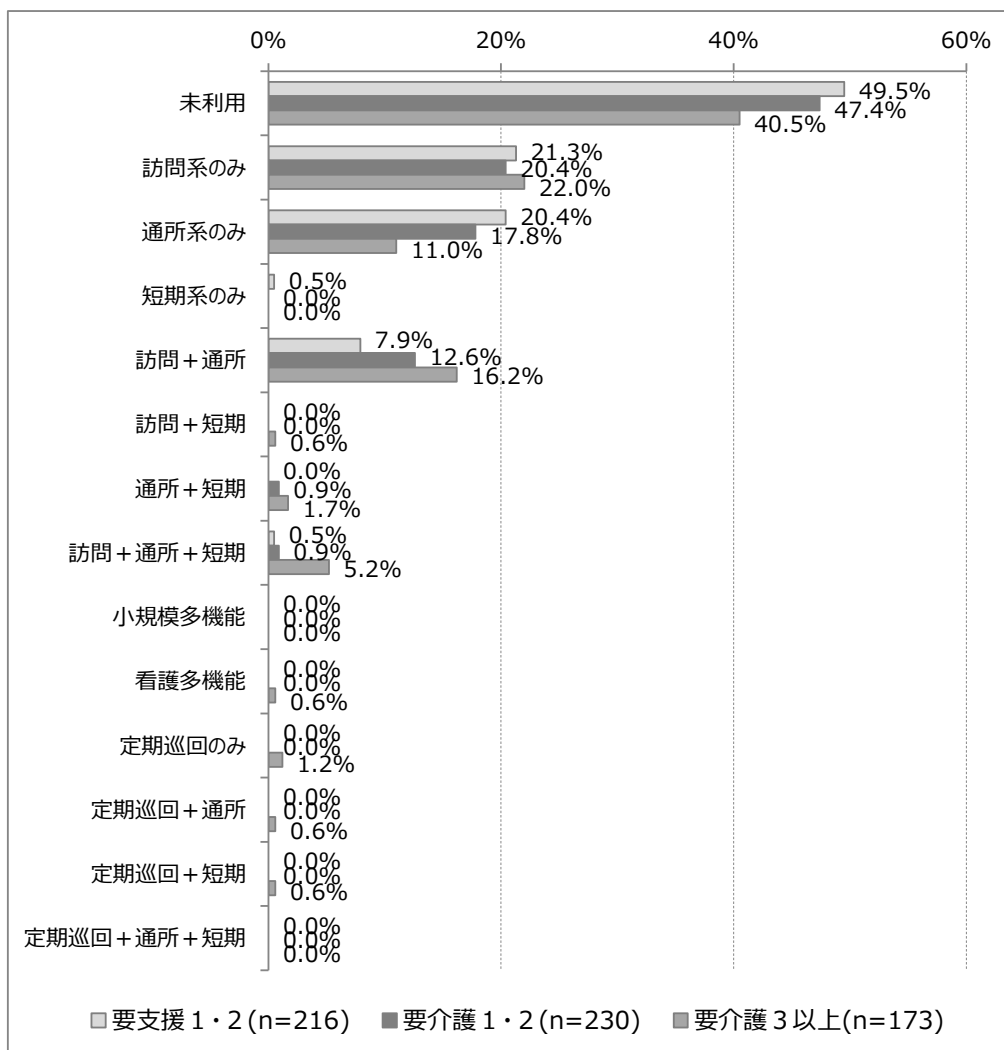
【図表 341】 認知症自立度別・介護者が不安を感じる介護



(3) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化 【要介護度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果(要介護度)別にみると、『要支援1・2』では「未利用」が49.5%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が21.3%となっている。『要介護1・2』では「未利用」が47.4%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が20.4%となっている。『要介護3以上』では「未利用」が40.5%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が22.0%となっている。

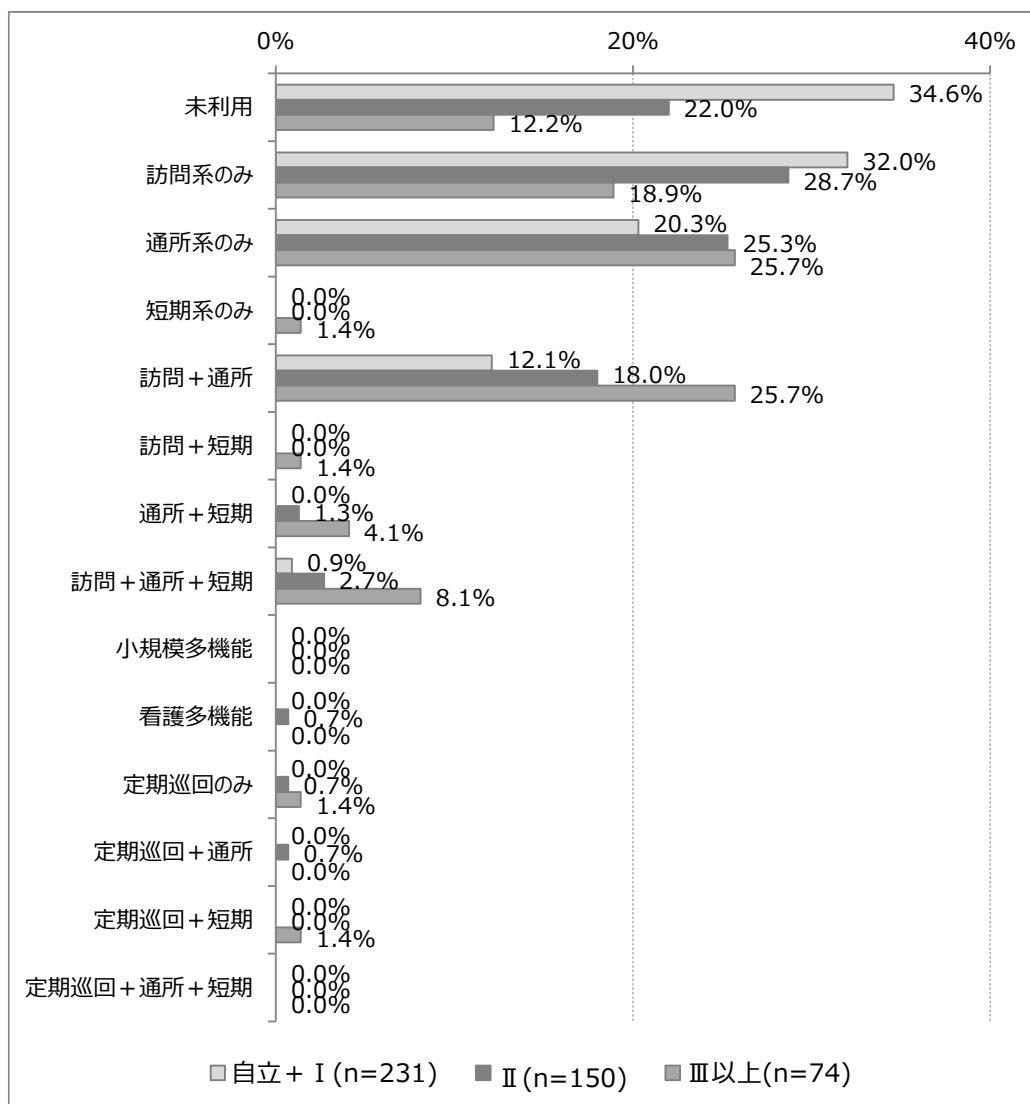
【図表 342】 要介護度別・サービス利用の組み合わせ



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、『自立+ I』では「未利用」が34.6%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が32.0%となっている。『II』では「訪問系のみ」が28.7%と最も割合が高く、次いで「通所系のみ」が25.3%となっている。『III以上』では「通所系のみ」、「訪問+通所」が25.7%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が18.9%となっている。

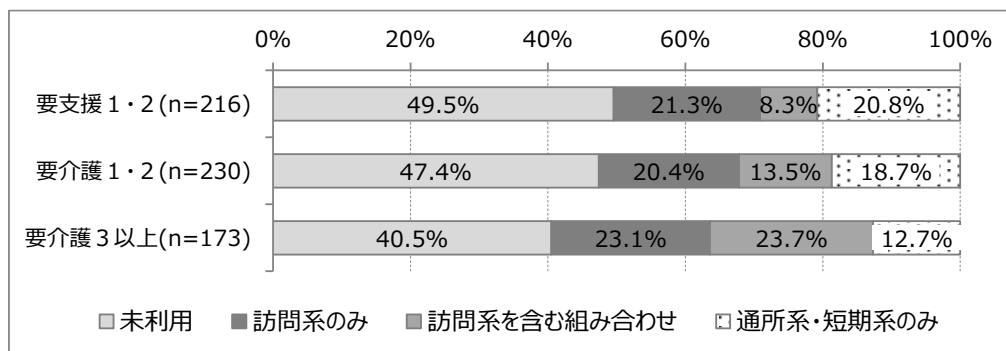
【図表 343】 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ



【要介護度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果(要介護度)別にみると、『要支援1・2』では「未利用」が49.5%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が21.3%となっている。『要介護1・2』では「未利用」が47.4%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が20.4%となっている。『要介護3以上』では「未利用」が40.5%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が23.7%となっている。

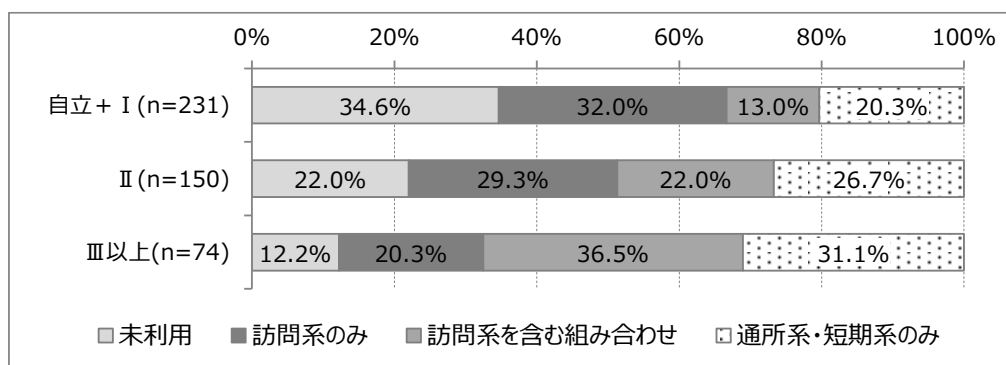
【図表 344】 要介護度別・サービス利用の組み合わせ



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、『自立+I』では「未利用」が34.6%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が32.0%となっている。『II』では「訪問系のみ」が29.3%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が26.7%となっている。『III以上』では「訪問系を含む組み合わせ」が36.5%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が31.1%となっている。

【図表 345】 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ

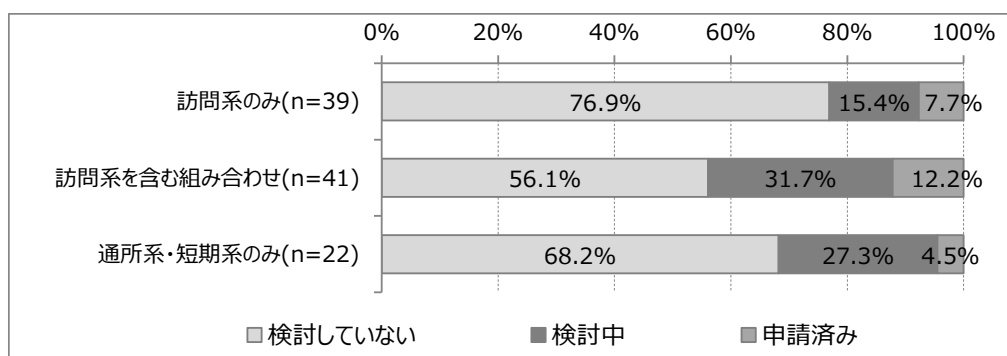


(4) 「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係

【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(要介護3以上)】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、『訪問系のみ』では「検討していない」が76.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が15.4%となっている。『訪問系を含む組み合わせ』では「検討していない」が56.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が31.7%となっている。『通所系・短期系のみ』では「検討していない」が68.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が27.3%となっている。

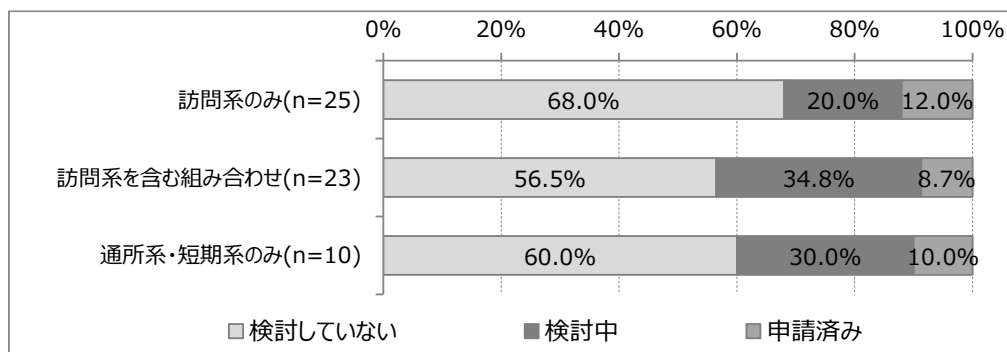
【図表 346】 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(要介護4以上)】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、『訪問系のみ』では「検討していない」が68.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が20.0%となっている。『訪問系を含む組み合わせ』では「検討していない」が56.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が34.8%となっている。『通所系・短期系のみ』では「検討していない」が60.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が30.0%となっている。

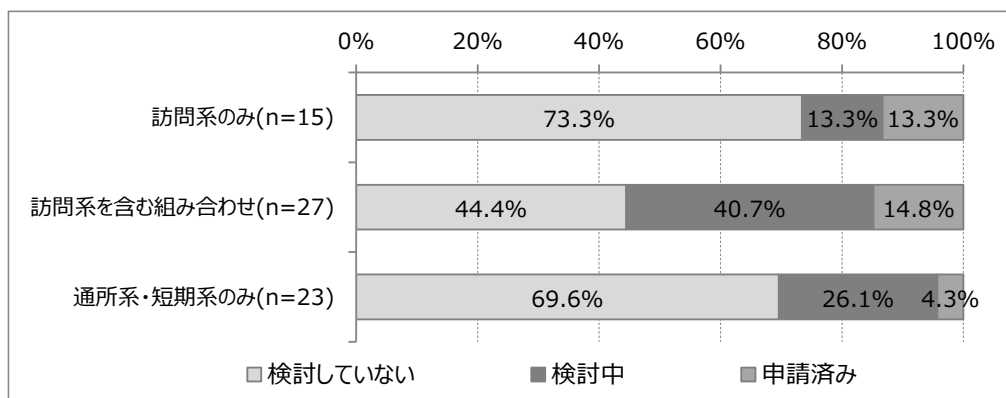
【図表 347】 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(認知症Ⅲ以上)】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、『訪問系のみ』では「検討していない」が73.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が13.3%となっている。『訪問系を含む組み合わせ』では「検討していない」が44.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が40.7%となっている。『通所系・短期系のみ』では「検討していない」が69.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が26.1%となっている。

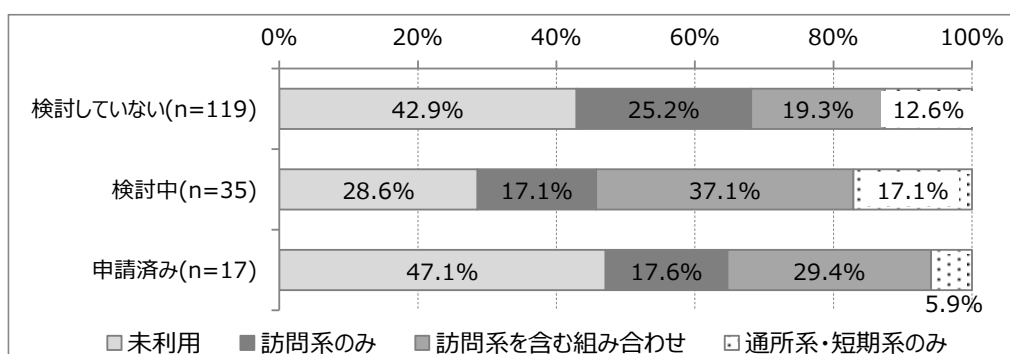
【図表 348】 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(要介護3以上)】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、『検討していない』では「未利用」が42.9%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が25.2%となっている。『検討中』では「訪問系を含む組み合わせ」が37.1%と最も割合が高く、次いで「未利用」が28.6%となっている。『申請済み』では「未利用」が47.1%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が29.4%となっている。

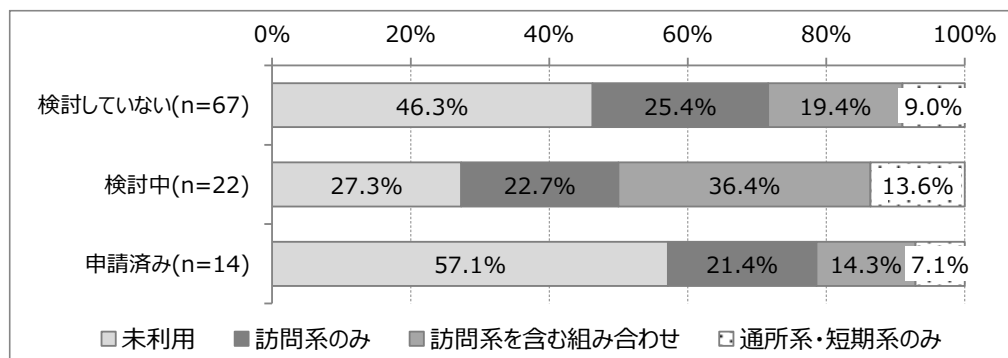
【図表 349】 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(要介護4以上)】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、『検討していない』では「未利用」が46.3%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が25.4%となっている。『検討中』では「訪問系を含む組み合わせ」が36.4%と最も割合が高く、次いで「未利用」が27.3%となっている。『申請済み』では「未利用」が57.1%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が21.4%となっている。

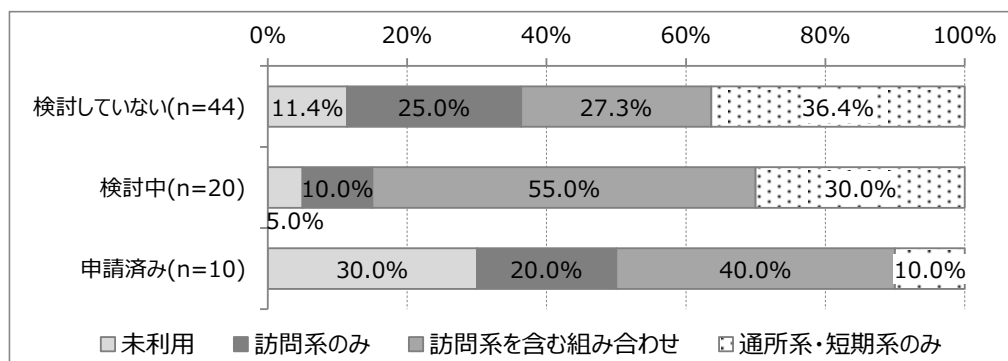
【図表 350】 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(認知症Ⅲ以上)】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、『検討していない』では「通所系・短期系のみ」が36.4%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が27.3%となっている。『検討中』では「訪問系を含む組み合わせ」が55.0%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が30.0%となっている。『申請済み』では「訪問系を含む組み合わせ」が40.0%と最も割合が高く、次いで「未利用」が30.0%となっている。

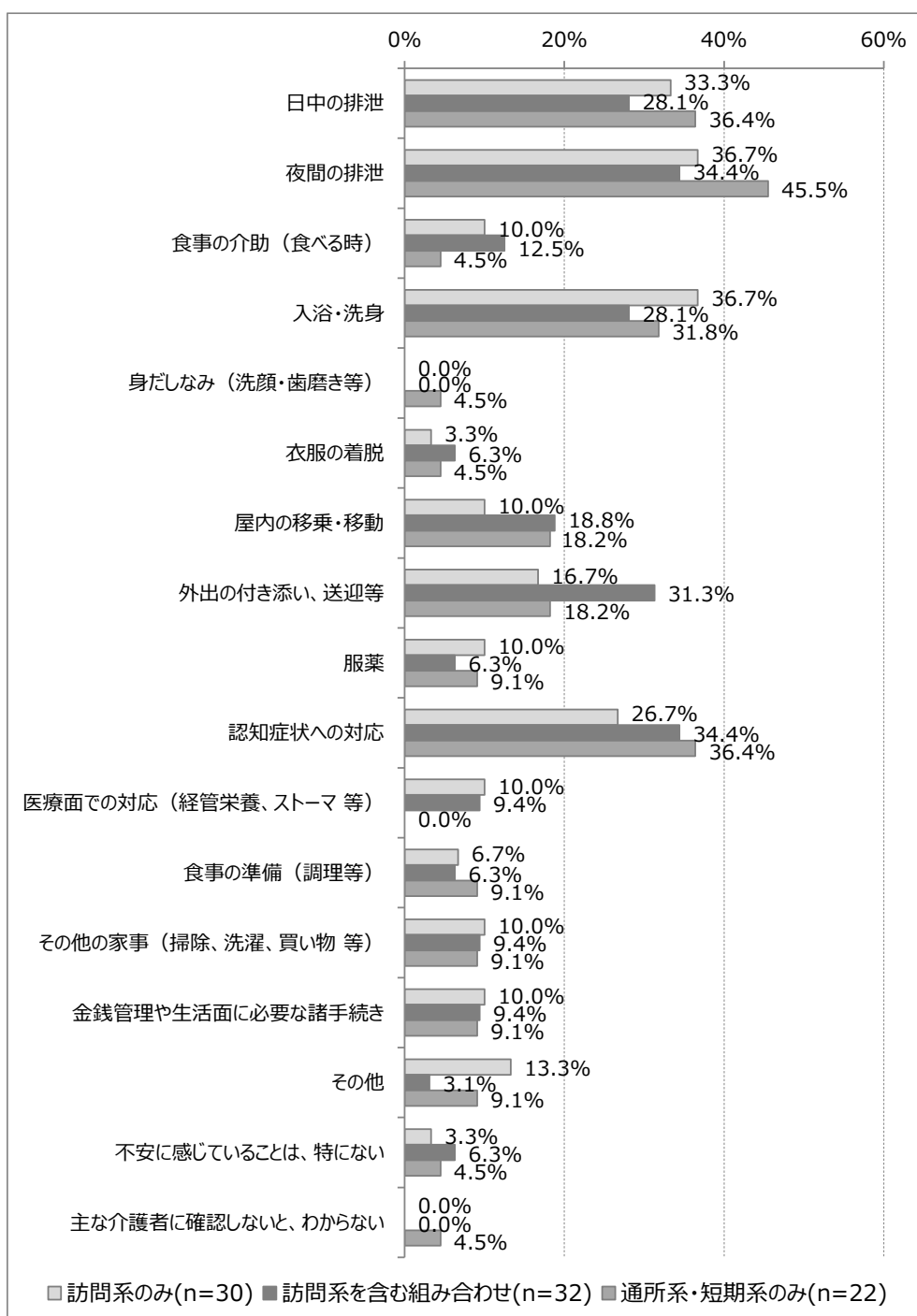
【図表 351】 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）



(5) 「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安を感じる介護」の関係
 【サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護(要介護3以上)】

介護者が不安を感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、『訪問系のみ』では「夜間の排泄」、「入浴・洗身」が36.7%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が33.3%となっている。『訪問系を含む組み合わせ』では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が34.4%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が31.3%となっている。『通所系・短期系のみ』では「夜間の排泄」が45.5%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「認知症状への対応」が36.4%となっている。

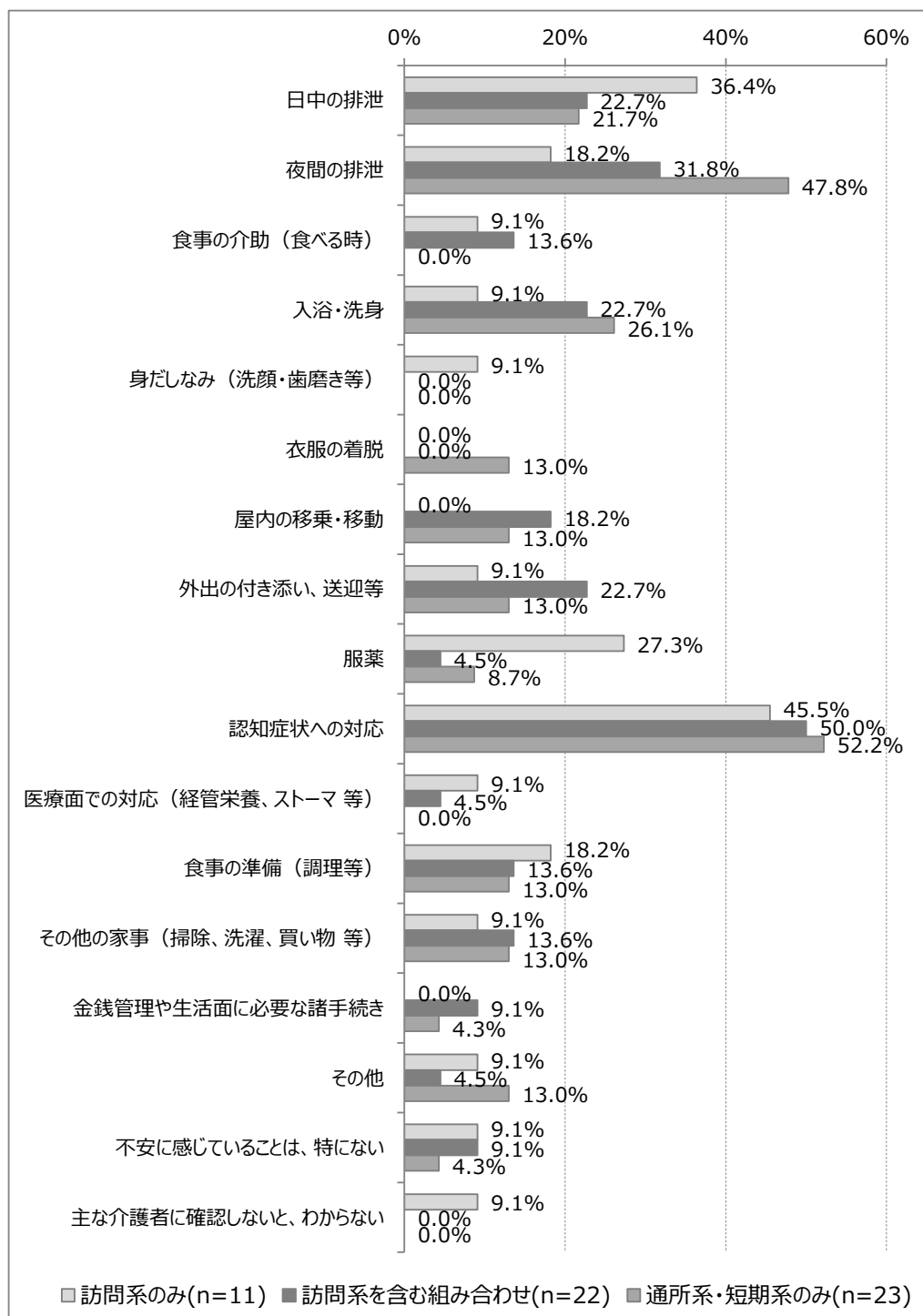
【図表 352】 サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（要介護3以上）



【サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護(認知症Ⅲ以上)】

介護者が不安を感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、『訪問系のみ』では「認知症状への対応」が45.5%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が36.4%となっている。『訪問系を含む組み合わせ』では「認知症状への対応」が50.0%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が31.8%となっている。『通所系・短期系のみ』では「認知症状への対応」が52.2%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が47.8%となっている。

【図表 353】 サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（認知症Ⅲ以上）

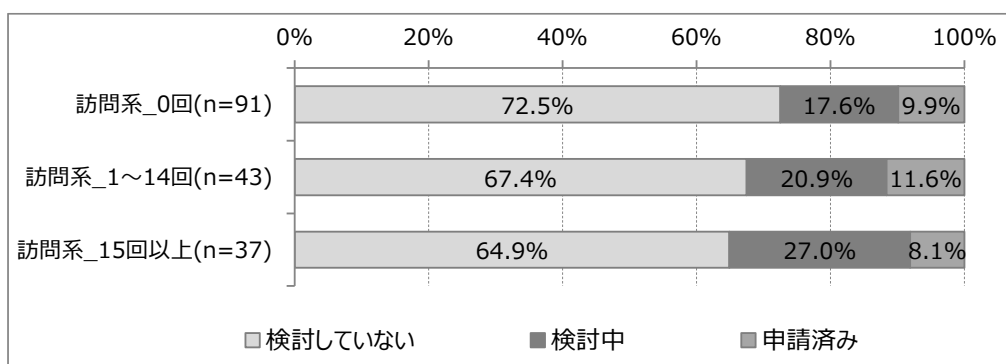


(6) 「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係

【サービス利用回数と施設等検討の状況(訪問系、要介護3以上)】

施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、『訪問系_0回』では「検討していない」が72.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が17.6%となっている。『訪問系_1～14回』では「検討していない」が67.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が20.9%となっている。『訪問系_15回以上』では「検討していない」が64.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が27.0%となっている。

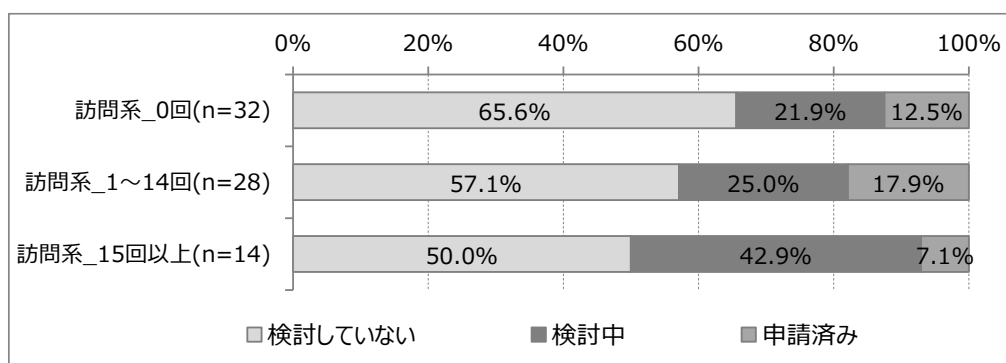
【図表 354】 サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、要介護3以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況(訪問系、認知症Ⅲ以上)】

施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、『訪問系_0回』では「検討していない」が65.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が21.9%となっている。『訪問系_1～14回』では「検討していない」が57.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が25.0%となっている。『訪問系_15回以上』では「検討していない」が50.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が42.9%となっている。

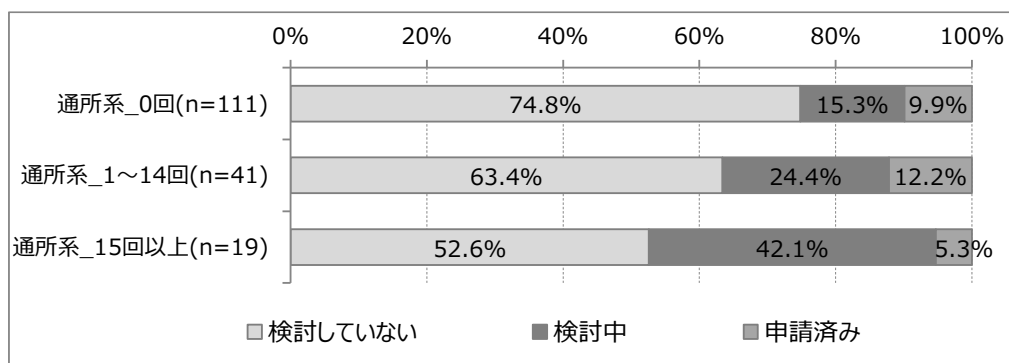
【図表 355】 サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況(通所系、要介護3以上)】

施設等の検討状況を通所系の利用回数別にみると、『通所系_0回』では「検討していない」が74.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が15.3%となっている。『通所系_1～14回』では「検討していない」が63.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が24.4%となっている。『通所系_15回以上』では「検討していない」が52.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が42.1%となっている。

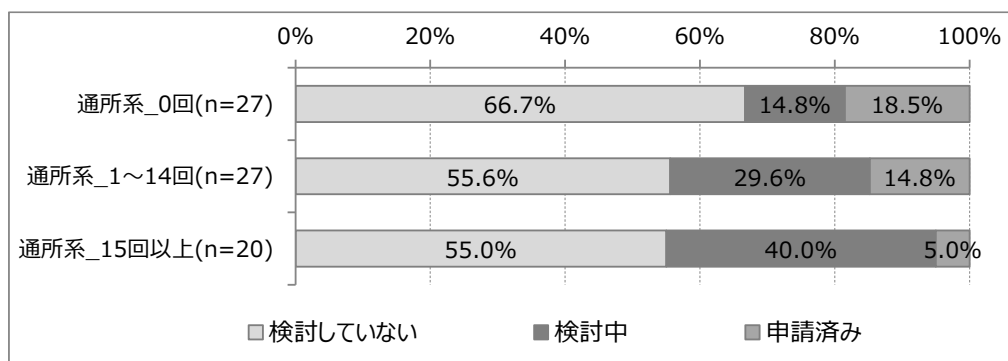
【図表 356】 サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、要介護3以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況(通所系、認知症Ⅲ以上)】

施設等の検討状況を通所系の利用回数別にみると、『通所系_0回』では「検討していない」が66.7%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が18.5%となっている。『通所系_1～14回』では「検討していない」が55.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が29.6%となっている。『通所系_15回以上』では「検討していない」が55.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が40.0%となっている。

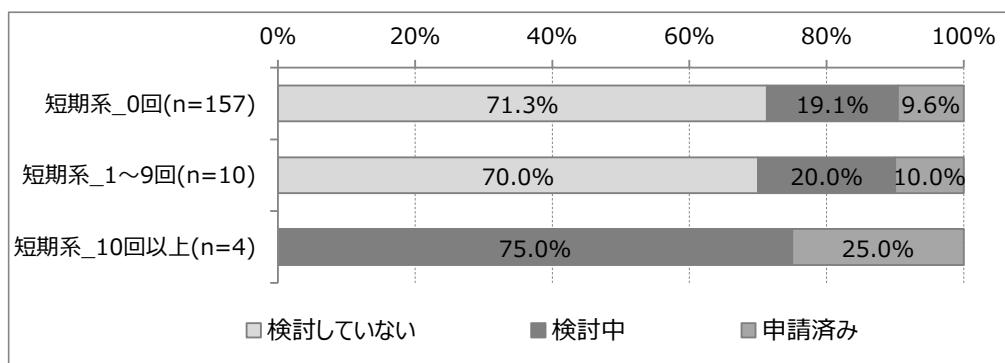
【図表 357】 サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況(短期系、要介護3以上)】

施設等の検討状況を短期系の利用回数別にみると、『短期系_0回』では「検討していない」が71.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が19.1%となっている。『短期系_1～9回』では「検討していない」が70.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が20.0%となっている。『短期系_10回以上』では「検討中」が75.0%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が25.0%となっている。

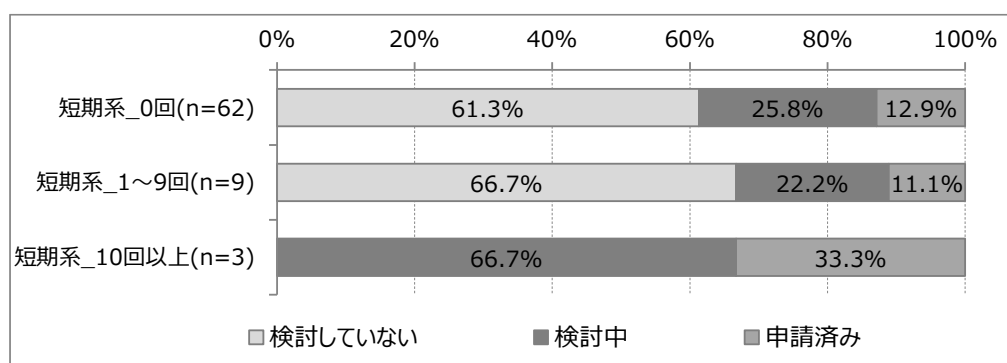
【図表 358】 サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、要介護3以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況(短期系、認知症Ⅲ以上)】

施設等の検討状況を短期系の利用回数別にみると、『短期系_0回』では「検討していない」が61.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が25.8%となっている。『短期系_1～9回』では「検討していない」が66.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が22.2%となっている。『短期系_10回以上』では「検討中」が66.7%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が33.3%となっている。

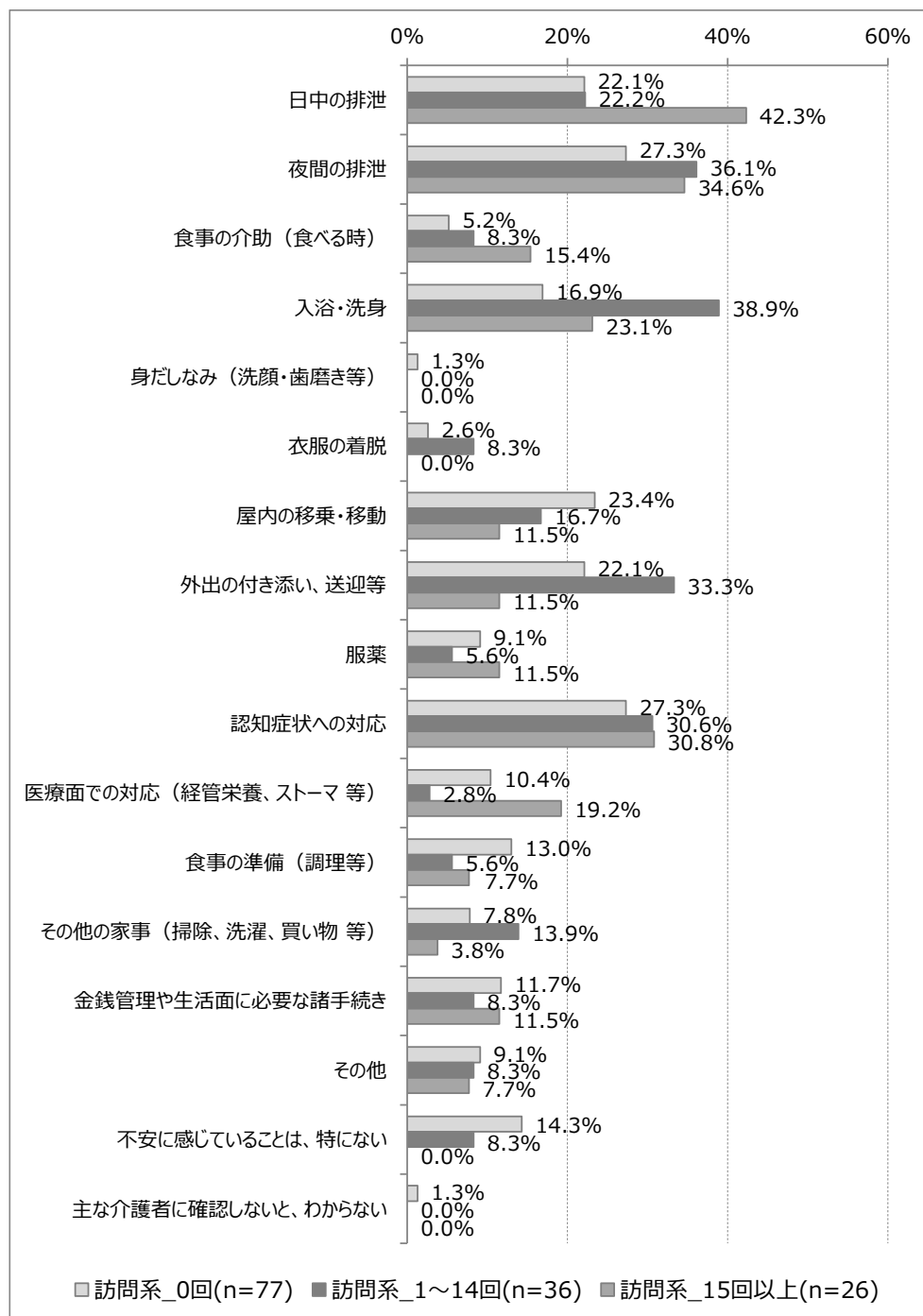
【図表 359】 サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、認知症Ⅲ以上）



(7) 「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安を感じる介護」の関係
 【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(訪問系、要介護3以上)】

介護者が不安を感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、『訪問系_0回』では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が27.3%と最も割合が高く、次いで「屋内の移乗・移動」が23.4%となっている。『訪問系_1～14回』では「入浴・洗身」が38.9%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が36.1%となっている。『訪問系_15回以上』では「日中の排泄」が42.3%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が34.6%となっている。

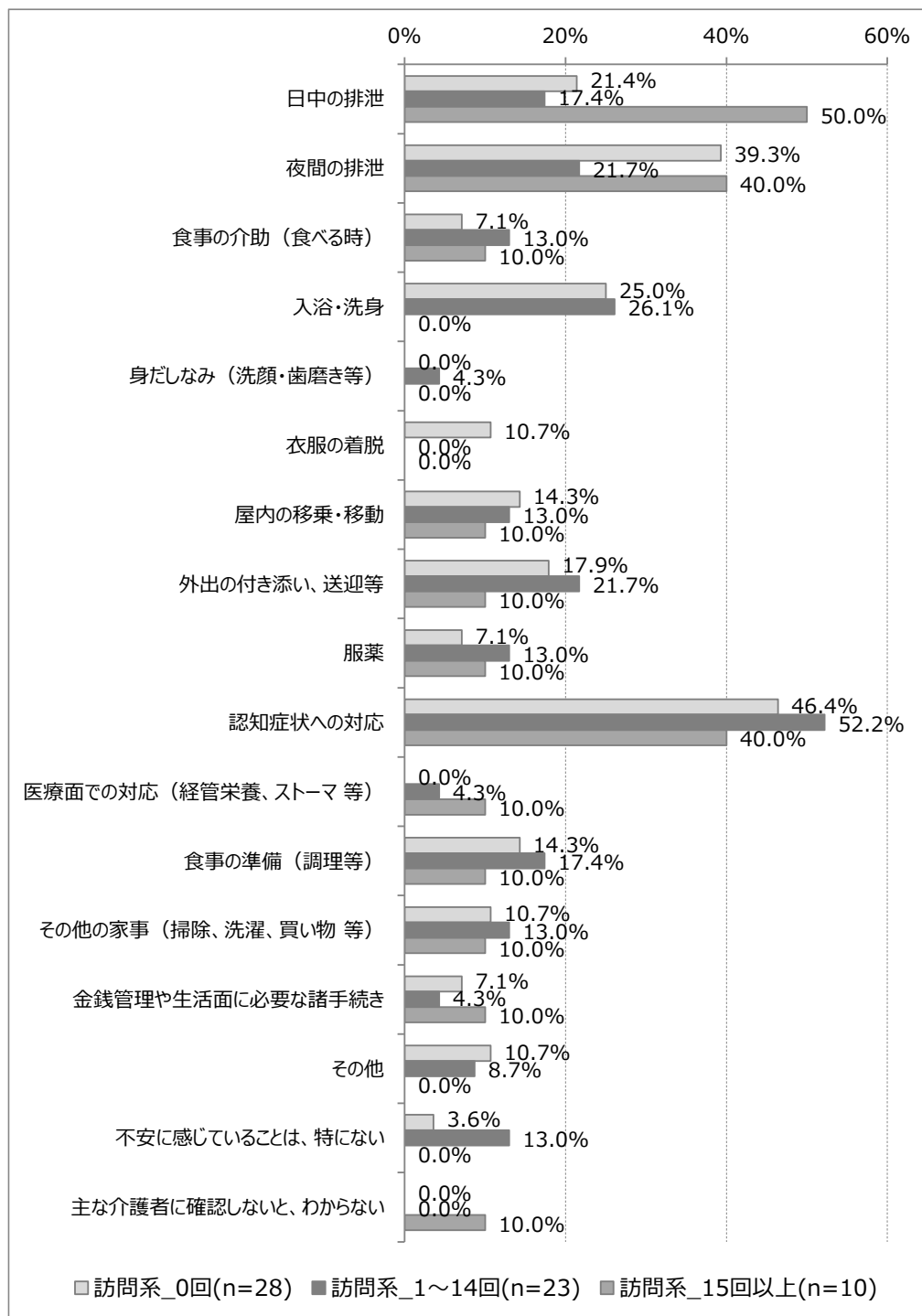
【図表 360】 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(訪問系、認知症Ⅲ以上)】

介護者が不安を感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、『訪問系_0回』では「認知症状への対応」が46.4%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が39.3%となっている。『訪問系_1～14回』では「認知症状への対応」が52.2%と最も割合が高く、次いで「入浴・洗身」が26.1%となっている。『訪問系_15回以上』では「日中の排泄」が50.0%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が40.0%となっている。

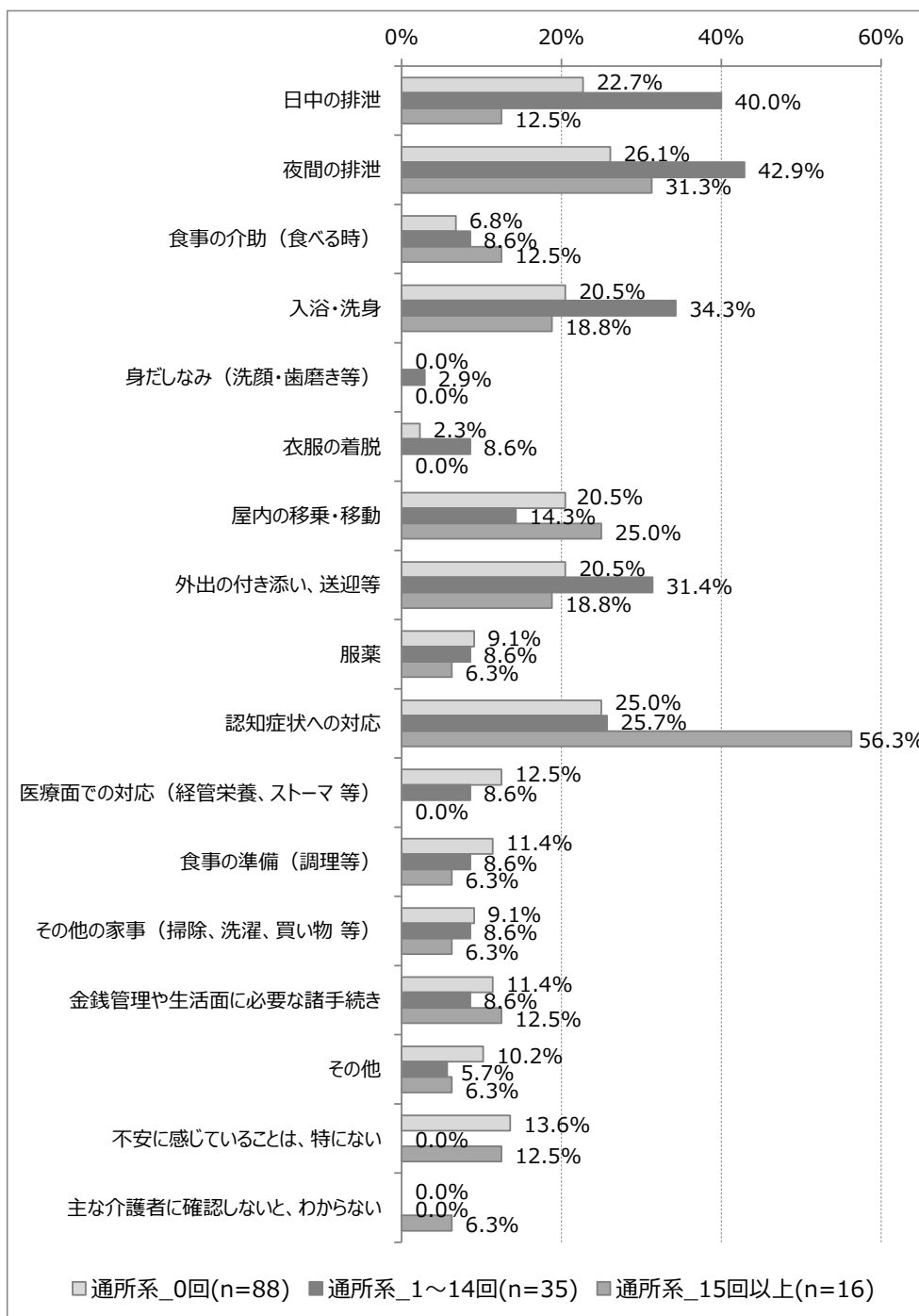
【図表 361】 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(通所系、要介護3以上)】

介護者が不安を感じる介護を通所系の利用回数別にみると、『通所系_0回』では「夜間の排泄」が26.1%と最も割合が高く、次いで「認知症状への対応」が25.0%となっている。『通所系_1～14回』では「夜間の排泄」が42.9%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が40.0%となっている。『通所系_15回以上』では「認知症状への対応」が56.3%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が31.3%となっている。

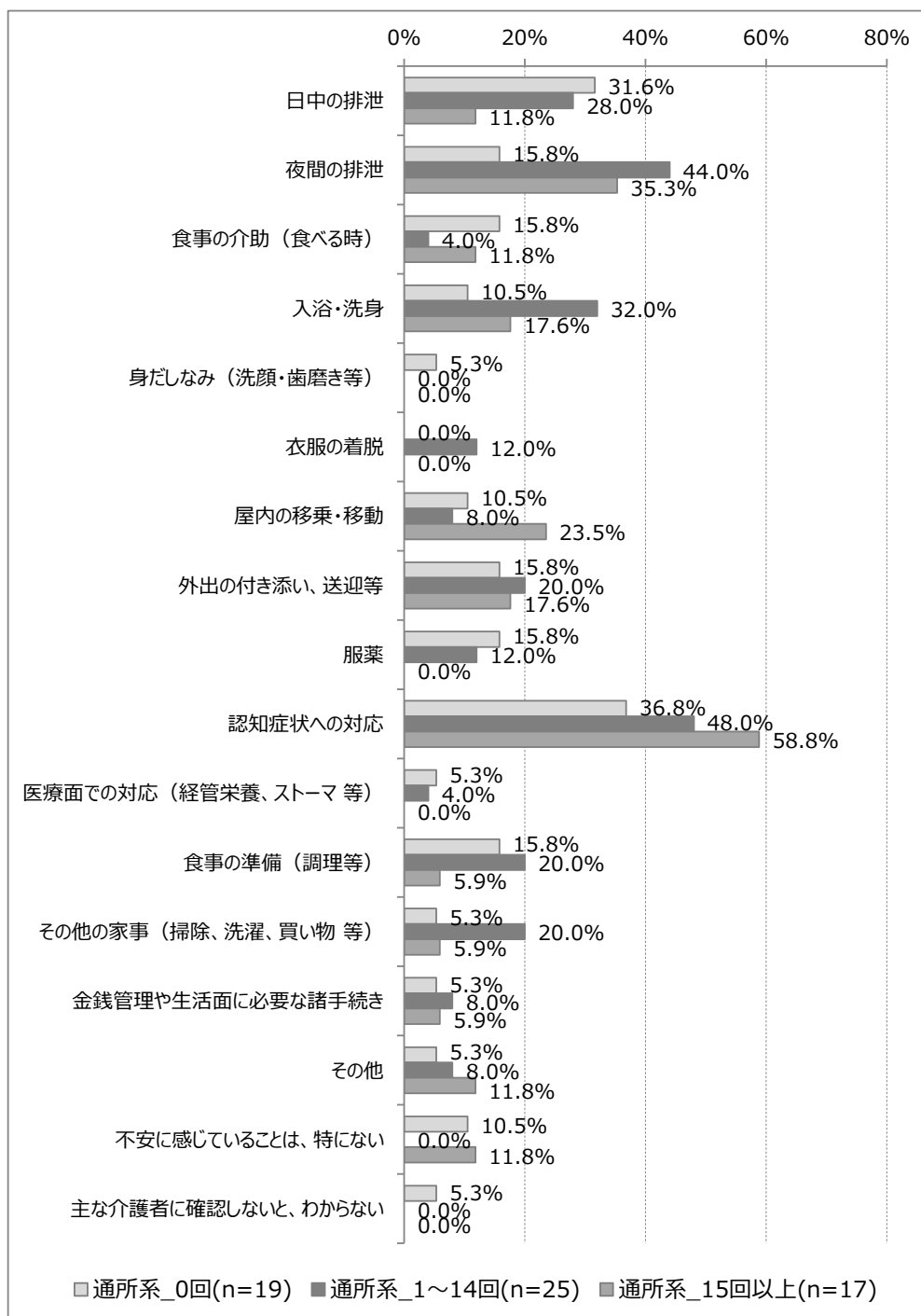
【図表 362】 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、要介護3以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(通所系、認知症Ⅲ以上)】

介護者が不安を感じる介護を通所系の利用回数別にみると、『通所系_0回』では「認知症状への対応」が36.8%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が31.6%となっている。『通所系_1～14回』では「認知症状への対応」が48.0%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が44.0%となっている。『通所系_15回以上』では「認知症状への対応」が58.8%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が35.3%となっている。

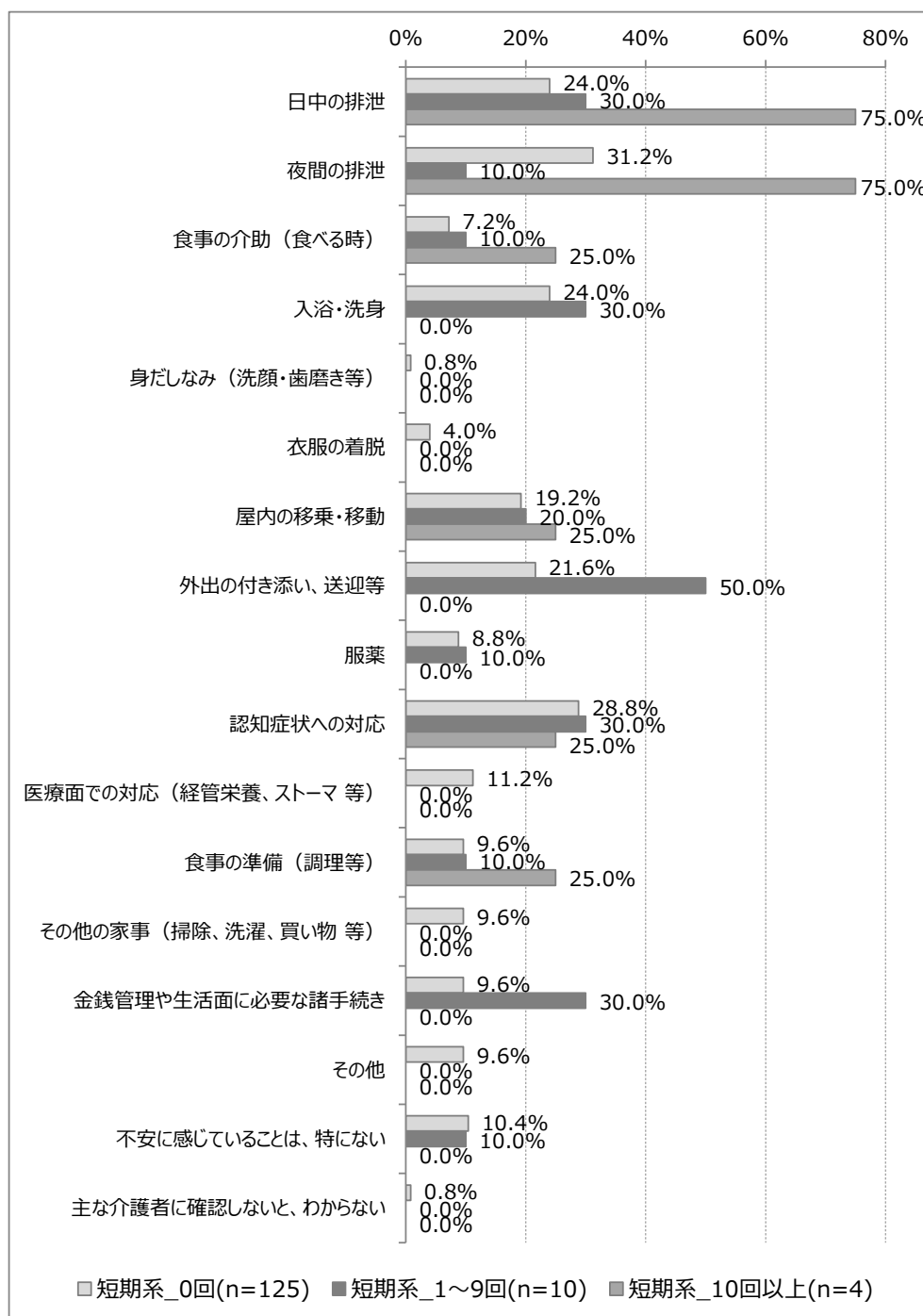
【図表 363】 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(短期系、要介護3以上)】

介護者が不安を感じる介護を短期系の利用回数別にみると、『短期系_0回』では「夜間の排泄」が31.2%と最も割合が高く、次いで「認知症状への対応」が28.8%となっている。『短期系_1～9回』では「外出の付き添い、送迎等」が50.0%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、 「入浴・洗身」、「認知症状への対応」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が30.0%となっている。『短期系_10回以上』では「日中の排泄」、「夜間の排泄」が75.0%と最も割合が高く、次いで「食事の介助（食べる時）」、「屋内の移乗・移動」、「認知症状への対応」、「食事の準備（調理等）」が25.0%となっている。

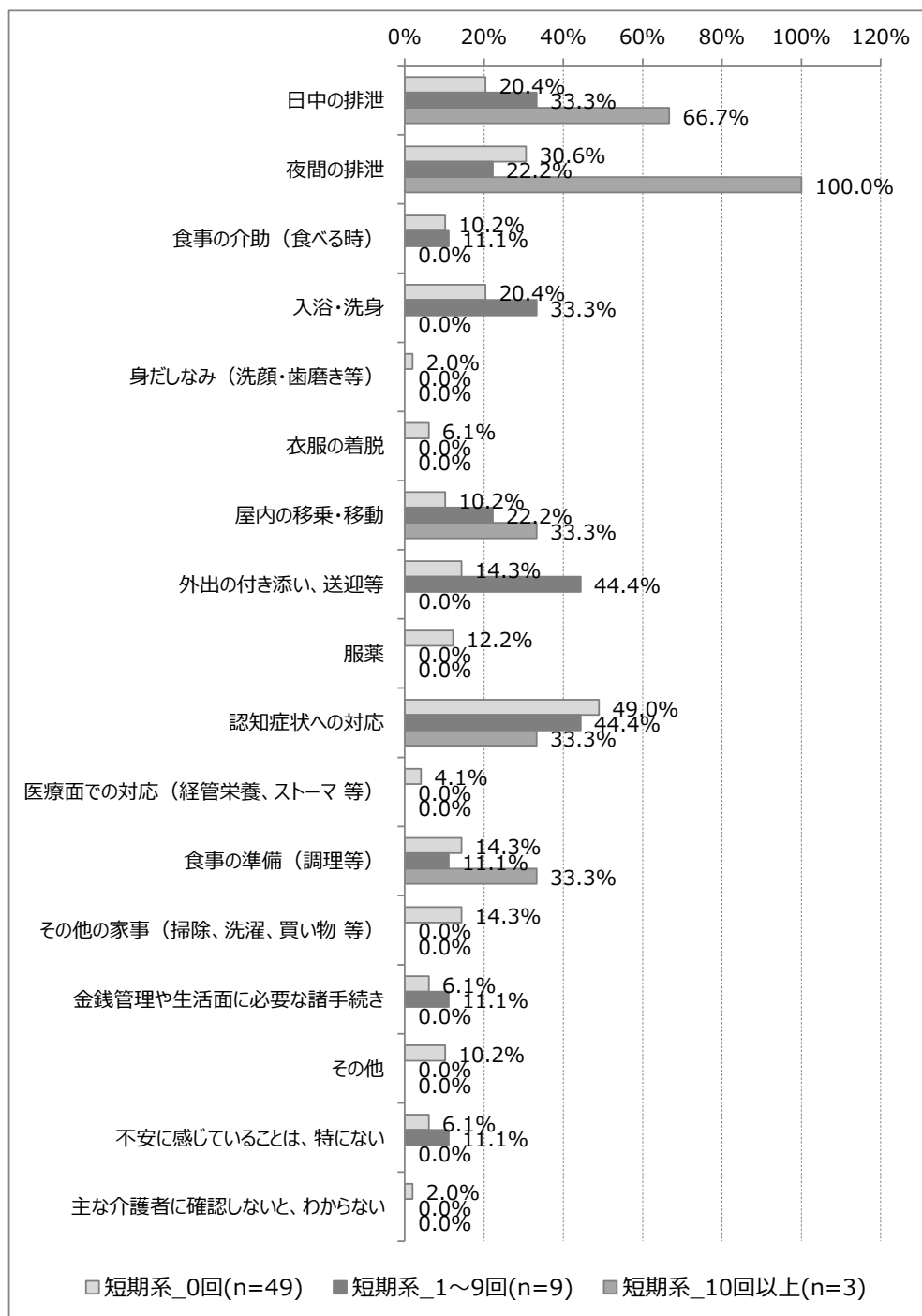
【図表 364】 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、要介護3以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(短期系、認知症Ⅲ以上)】

介護者が不安を感じる介護を短期系の利用回数別にみると、『短期系_0回』では「認知症状への対応」が49.0%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が30.6%となっている。『短期系_1～9回』では「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」が44.4%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「入浴・洗身」が33.3%となっている。『短期系_10回以上』では「夜間の排泄」が100.0%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が66.7%となっている。

【図表 365】 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、認知症Ⅲ以上）



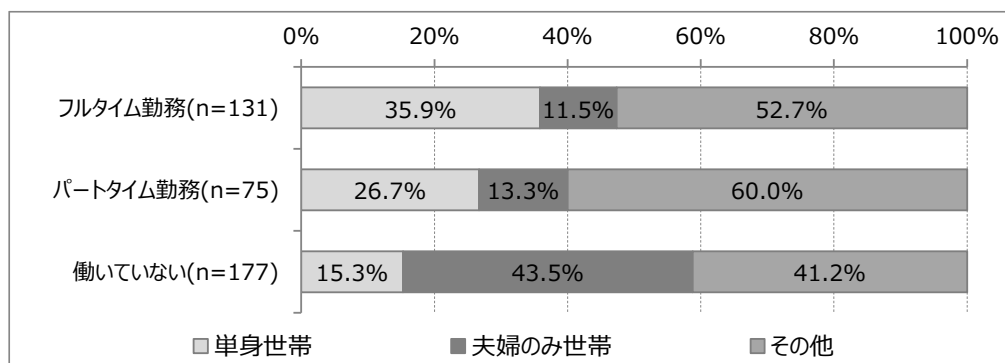
仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

(1) 基本集計

【就労状況別・世帯類型】

世帯類型を介護者の勤務形態別にみると、『フルタイム勤務』では「その他」が52.7%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が35.9%となっている。『パートタイム勤務』では「その他」が60.0%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が26.7%となっている。『働いていない』では「夫婦のみ世帯」が43.5%と最も割合が高く、次いで「その他」が41.2%となっている。

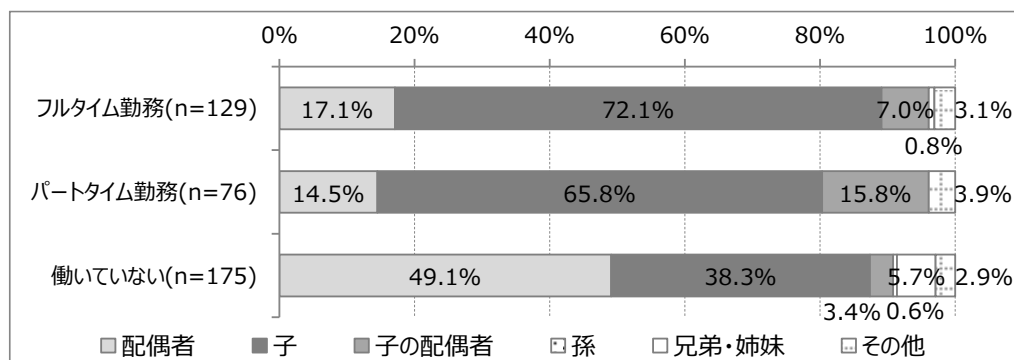
【図表 366】 就労状況別・世帯類型



【就労状況別・主な介護者の本人との関係】

主な介護者を介護者の勤務形態別にみると、『フルタイム勤務』では「子」が72.1%と最も割合が高く、次いで「配偶者」が17.1%となっている。『パートタイム勤務』では「子」が65.8%と最も割合が高く、次いで「子の配偶者」が15.8%となっている。『働いていない』では「配偶者」が49.1%と最も割合が高く、次いで「子」が38.3%となっている。

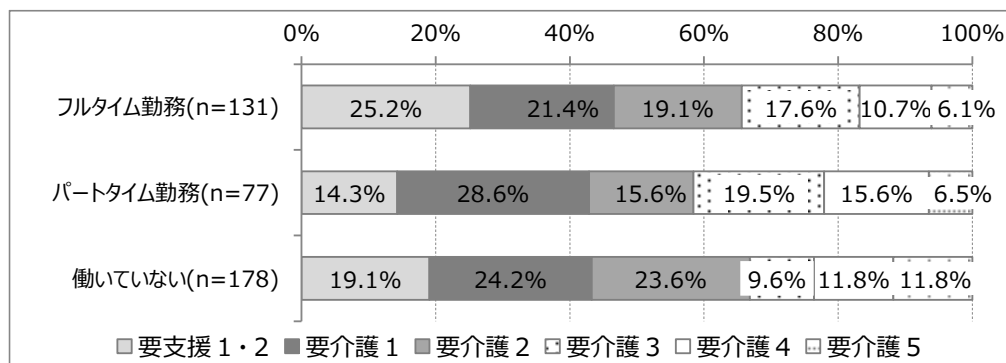
【図表 367】 就労状況別・主な介護者の本人との関係



【就労状況別・要介護度】

二次判定結果(要介護度)を介護者の勤務形態別にみると、『フルタイム勤務』では「要支援1・2」が25.2%と最も割合が高く、次いで「要介護1」が21.4%となっている。『パートタイム勤務』では「要介護1」が28.6%と最も割合が高く、次いで「要介護3」が19.5%となっている。『働いていない』では「要介護1」が24.2%と最も割合が高く、次いで「要介護2」が23.6%となっている。

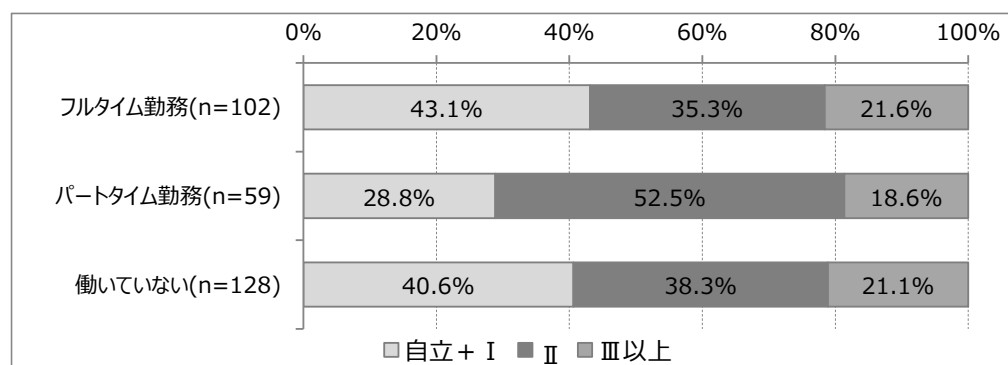
【図表 368】 就労状況別・要介護度



【就労状況別・認知症自立度】

認知症高齢者自立度を介護者の勤務形態別にみると、『フルタイム勤務』では「自立+I」が43.1%と最も割合が高く、次いで「II」が35.3%となっている。『パートタイム勤務』では「II」が52.5%と最も割合が高く、次いで「自立+I」が28.8%となっている。『働いていない』では「自立+I」が40.6%と最も割合が高く、次いで「II」が38.3%となっている。

【図表 369】 就労状況別・認知症自立度

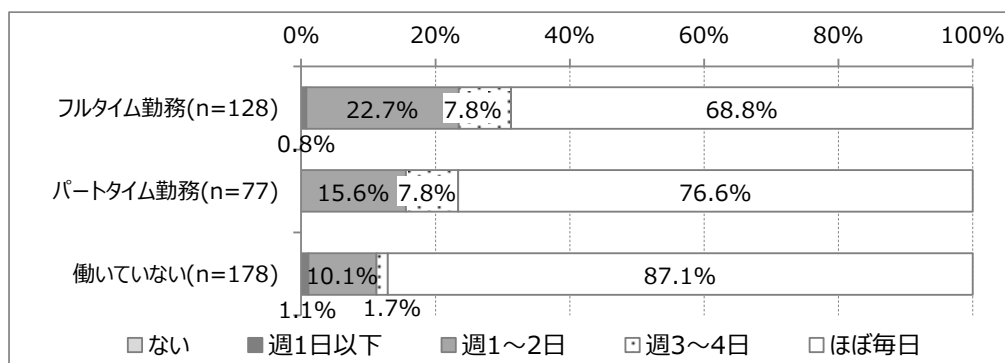


(2) 就労状況別の、主な介護者が行っている介護と就労継続見込み

【就労状況別・家族等による介護の頻度】

ご家族等の介護の頻度を介護者の勤務形態別にみると、『フルタイム勤務』では「ほぼ毎日」が68.8%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が22.7%となっている。『パートタイム勤務』では「ほぼ毎日」が76.6%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が15.6%となっている。『働いていない』では「ほぼ毎日」が87.1%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が10.1%となっている。

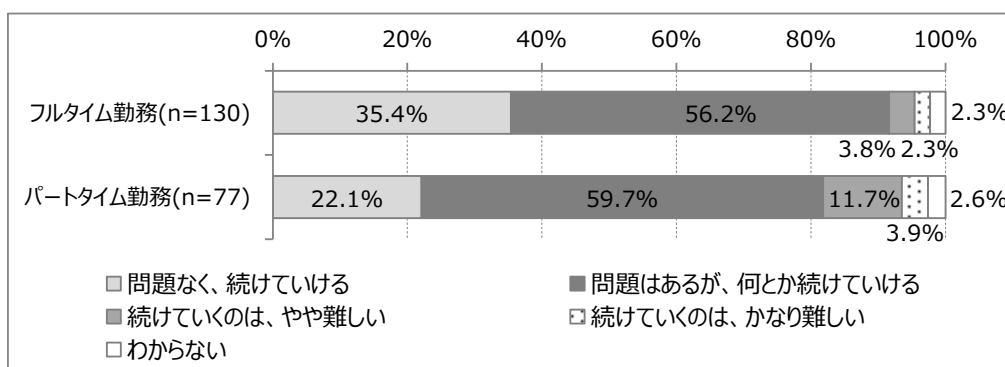
【図表 370】 就労状況別・家族等による介護の頻度



【就労状況別・就労継続見込み】

介護者の就労継続の可否に係る意識を介護者の勤務形態別にみると、『フルタイム勤務』では「問題はあるが、何とか続けていける」が56.2%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が35.4%となっている。『パートタイム勤務』では「問題はあるが、何とか続けていける」が59.7%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が22.1%となっている。

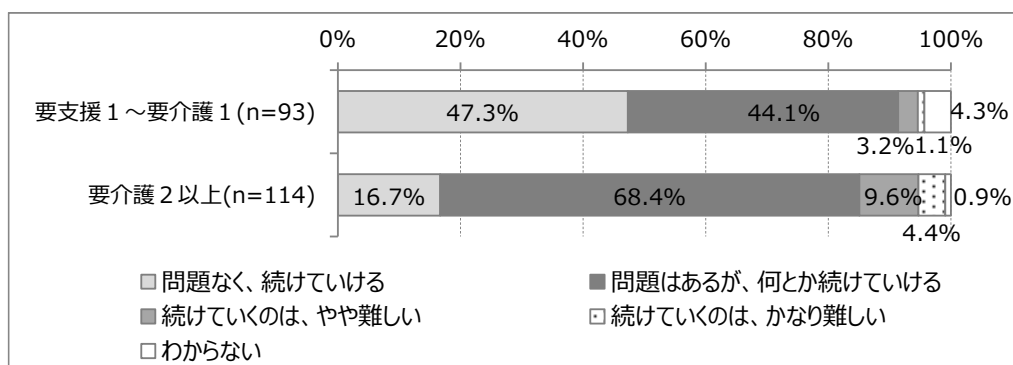
【図表 371】 就労状況別・就労継続見込み



【要介護度別・就労継続見込み(フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

介護者の就労継続の可否に係る意識を二次判定結果(要介護度)別にみると、『要支援1～要介護1』では「問題なく、続けていける」が47.3%と最も割合が高く、次いで「問題はあるが、何とか続けていける」が44.1%となっている。『要介護2以上』では「問題はあるが、何とか続けていける」が68.4%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が16.7%となっている。

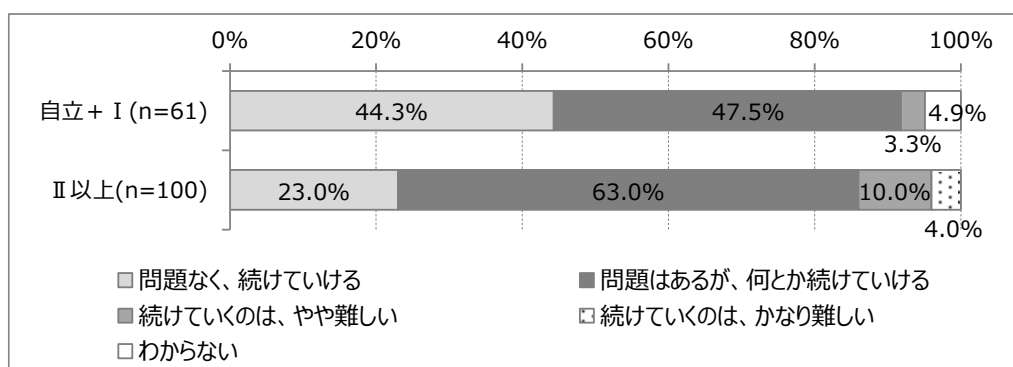
【図表 372】 要介護度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



【認知症自立度別・就労継続見込み(フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

介護者の就労継続の可否に係る意識を認知症高齢者自立度別にみると、『自立+ I』では「問題はあるが、何とか続けていける」が47.5%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が44.3%となっている。『II以上』では「問題はあるが、何とか続けていける」が63.0%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が23.0%となっている。

【図表 373】 認知症自立度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）

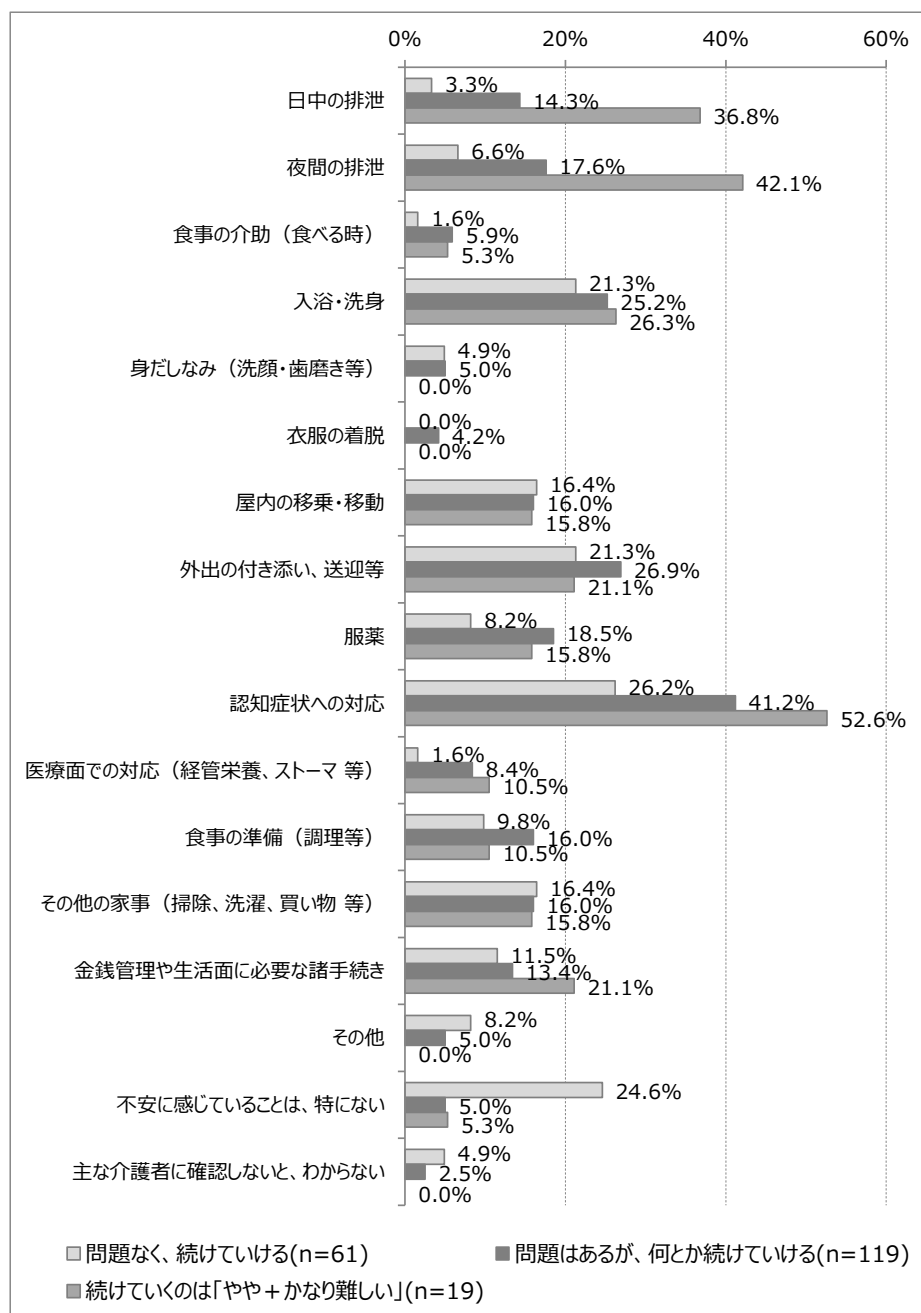


(3) 「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見込み」の関係

【就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護(フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

介護者が不安に感じる介護を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、『問題なく、続けていける』では「認知症状への対応」が26.2%と最も割合が高く、次いで「不安に感じていることは、特にない」が24.6%となっている。『問題はあるが、何とか続けていける』では「認知症状への対応」が41.2%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が26.9%となっている。『続けていくのは「やや+かなり難しい』』では「認知症状への対応」が52.6%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が42.1%となっている。

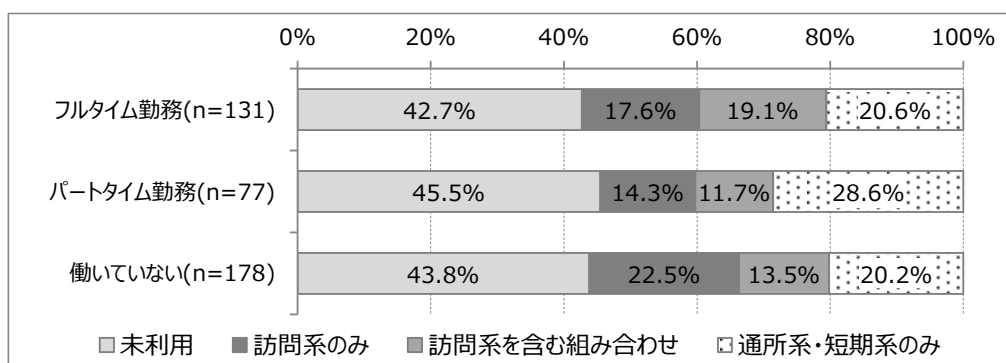
【図表 374】 就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



(4) 「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係 【就労状況別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを介護者の勤務形態別にみると、『フルタイム勤務』では「未利用」が42.7%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が20.6%となっている。『パートタイム勤務』では「未利用」が45.5%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が28.6%となっている。『働いていない』では「未利用」が43.8%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が22.5%となっている。

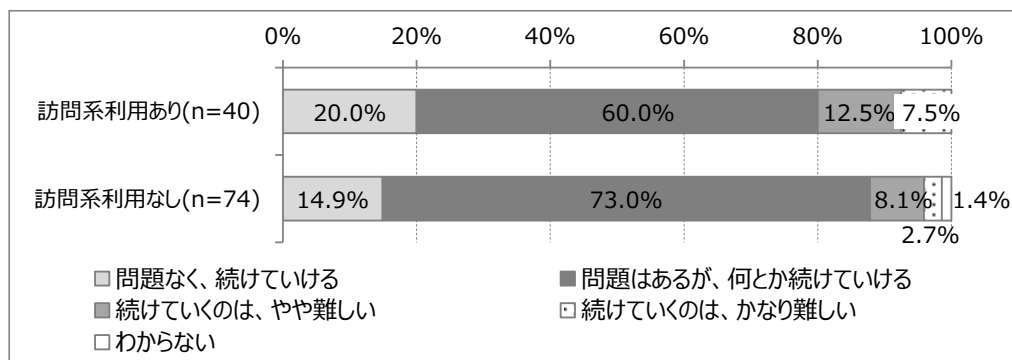
【図表 375】 就労状況別・サービス利用の組み合わせ



【サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、『訪問系利用あり』では「問題はあるが、何とか続けていける」が60.0%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が20.0%となっている。『訪問系利用なし』では「問題はあるが、何とか続けていける」が73.0%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が14.9%となっている。

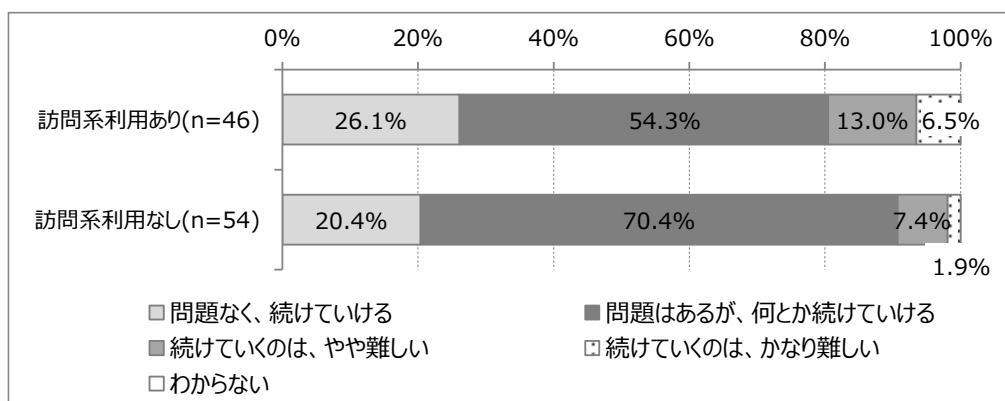
【図表 376】 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み
(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)



【サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み(認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、『訪問系利用あり』では「問題はあるが、何とか続けていける」が54.3%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が26.1%となっている。『訪問系利用なし』では「問題はあるが、何とか続けていける」が70.4%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が20.4%となっている。

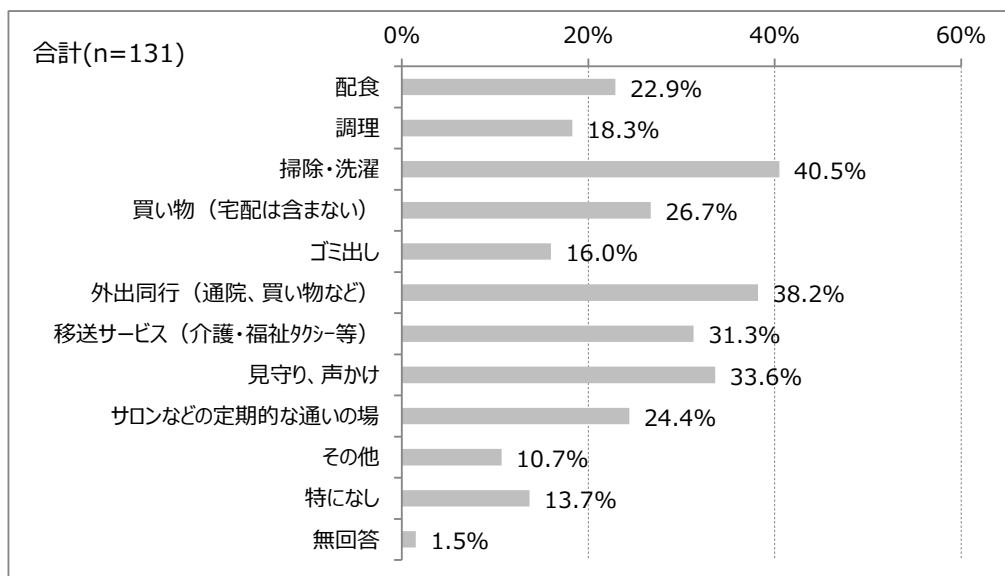
【図表 377】 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み
(認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)



(5) 就労状況別の、保険外の支援・サービスの利用状況と、施設等検討の状況
【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(フルタイム勤務)】

「掃除・洗濯」の割合が最も高く40.5%となっている。次いで、「外出同行(通院、買い物など)(38.2%)」、「見守り、声かけ(33.6%)」となっている。

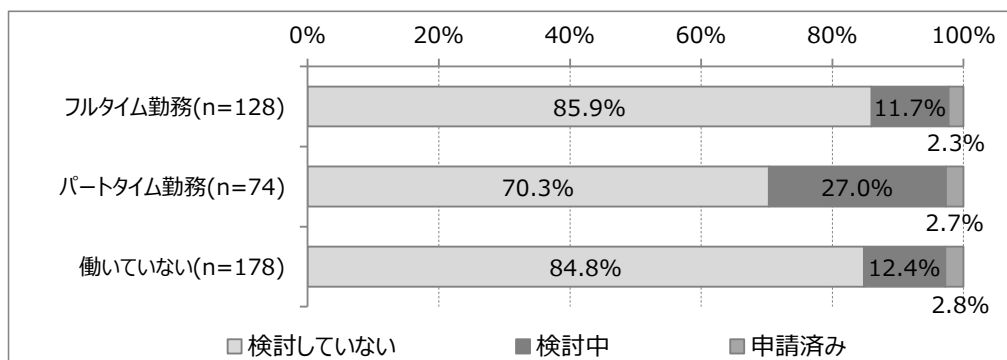
【図表 378】 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(フルタイム勤務)



【就労状況別・施設等検討の状況】

施設等の検討状況を介護者の勤務形態別にみると、『フルタイム勤務』では「検討していない」が85.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が11.7%となっている。『パートタイム勤務』では「検討していない」が70.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が27.0%となっている。『働いていない』では「検討していない」が84.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が12.4%となっている。

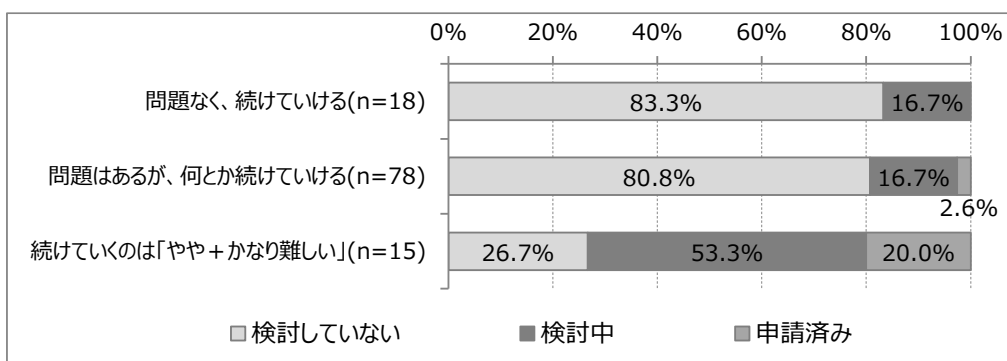
【図表 379】 就労状況別・施設等検討の状況



【就労継続見込み別・施設等検討の状況(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

施設等の検討状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、『問題なく、続けていける』では「検討していない」が83.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が16.7%となっている。『問題はあるが、何とか続けていける』では「検討していない」が80.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が16.7%となっている。『続けていくのは「やや+かなり難しい』』では「検討中」が53.3%と最も割合が高く、次いで「検討していない」が26.7%となっている。

【図表 380】 就労継続見込み別・施設等検討の状況
(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)

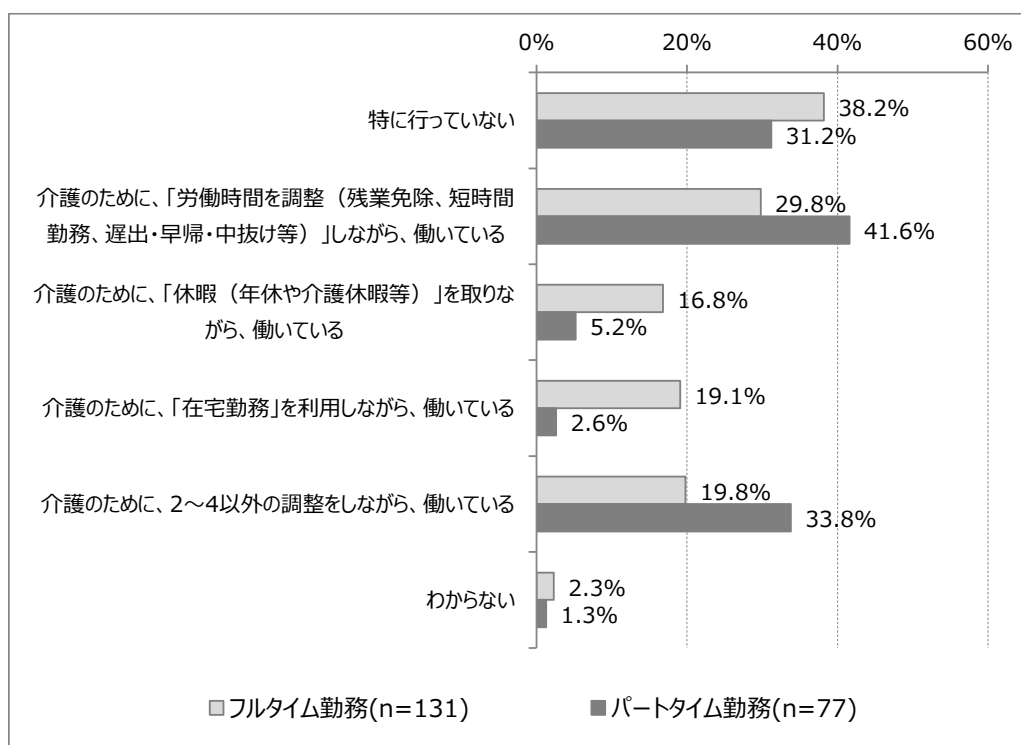


(6) 就労状況別の、介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援

【就労状況別・介護のための働き方の調整】

介護者の働き方の調整の状況を介護者の勤務形態別にみると、『フルタイム勤務』では「特に行っていない」が38.2%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が29.8%となっている。『パートタイム勤務』では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が41.6%と最も割合が高く、次いで「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が33.8%となっている。

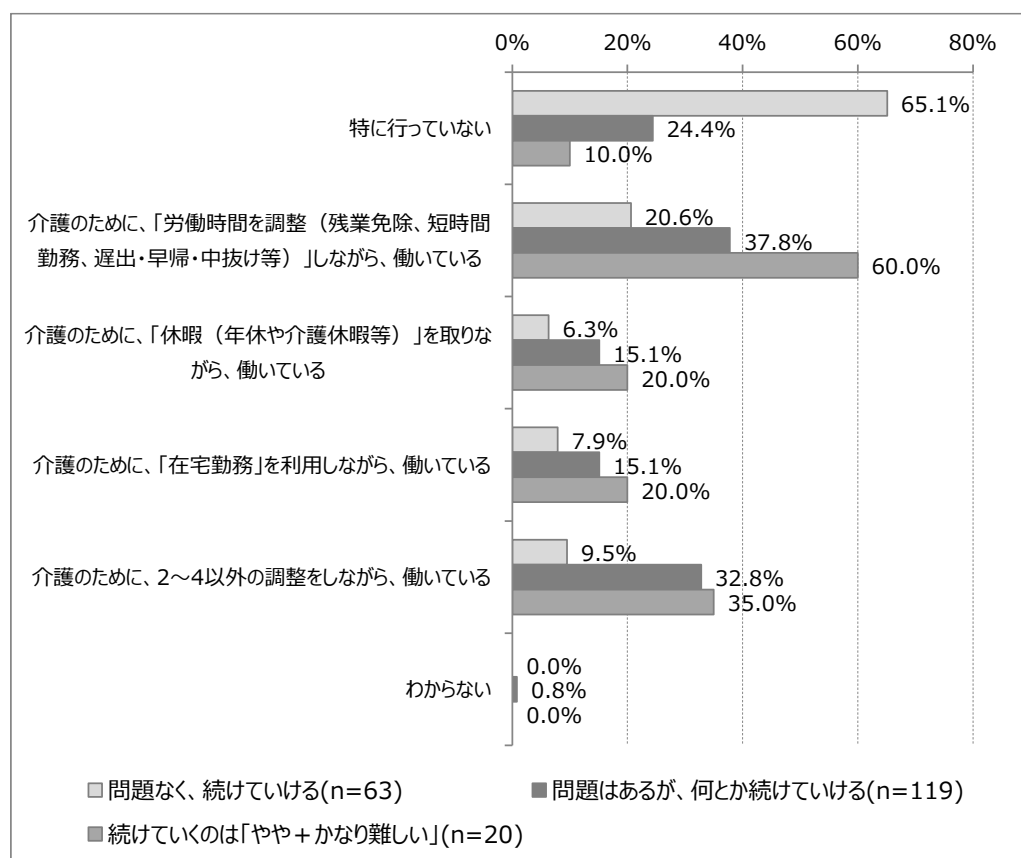
【図表 381】 就労状況別・介護のための働き方の調整



【就労継続見込み別・介護のための働き方の調整(フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

介護者の働き方の調整の状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、『問題なく、続けていける』では「特に行っていない」が65.1%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が20.6%となっている。『問題はあるが、何とか続けていける』では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が37.8%と最も割合が高く、次いで「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が32.8%となっている。『続けていくのは「やや+かなり難しい』』では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が60.0%と最も割合が高く、次いで「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が35.0%となっている。

【図表 382】 就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



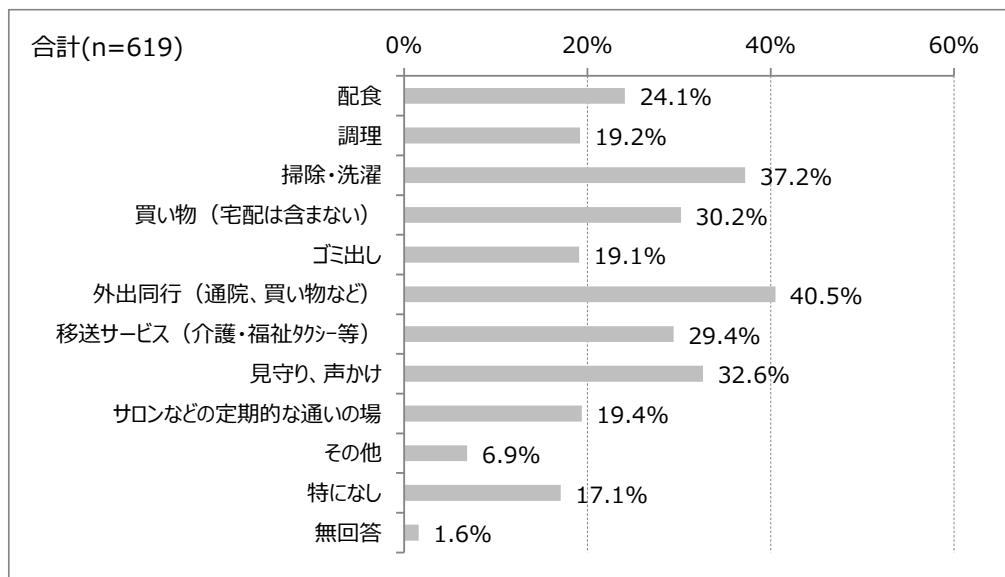
保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

(1) 基礎集計

【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

「外出同行（通院、買い物など）」の割合が最も高く40.5%となっている。次いで、「掃除・洗濯（37.2%）」、「見守り、声かけ（32.6%）」となっている。

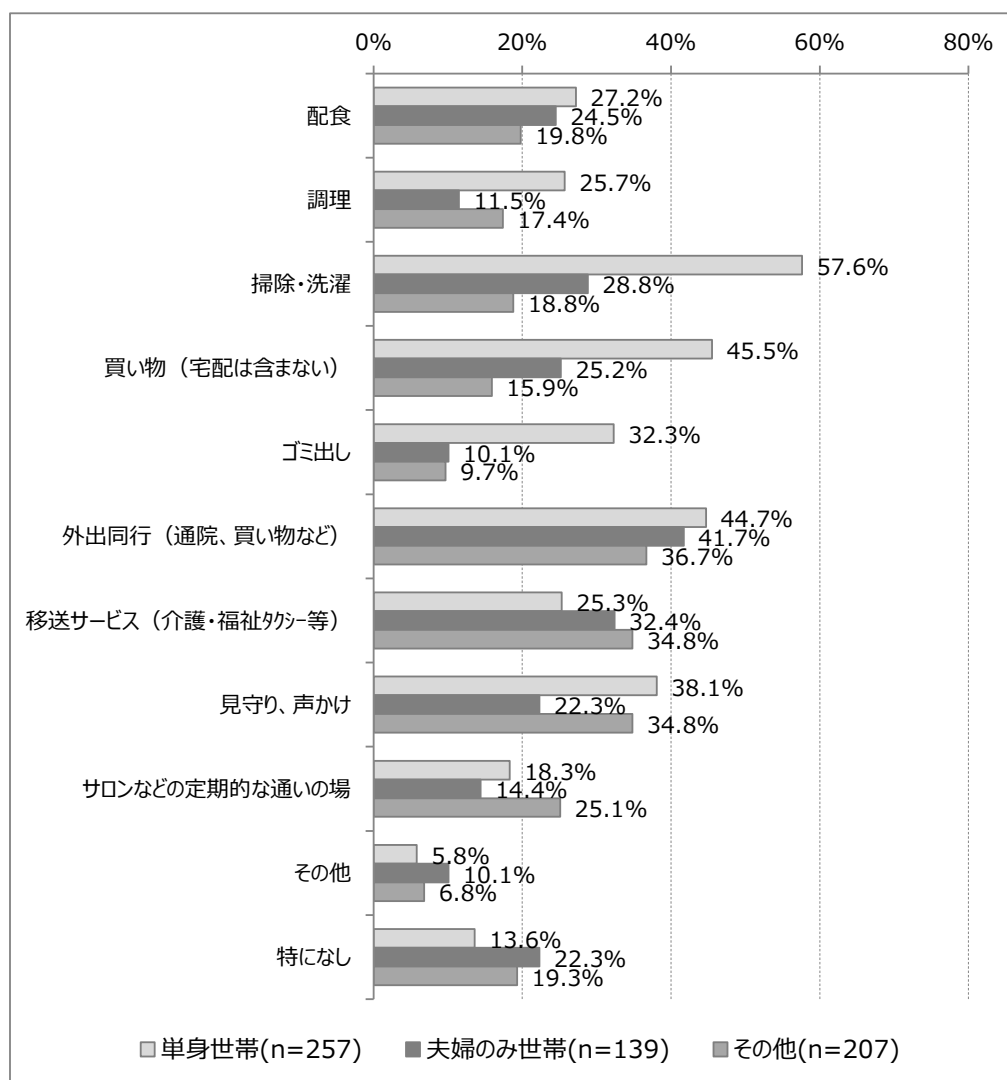
【図表 383】在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



(2) 世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス 【世帯類型別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

保険外の支援・サービスの必要性を世帯類型別にみると、『単身世帯』では「掃除・洗濯」が57.6%と最も割合が高く、次いで「買い物（宅配は含まない）」が45.5%となっている。『夫婦のみ世帯』では「外出同行（通院、買い物など）」が41.7%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が32.4%となっている。『その他』では「外出同行（通院、買い物など）」が36.7%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「見守り、声かけ」が34.8%となっている。

【図表 384】 世帯類型別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

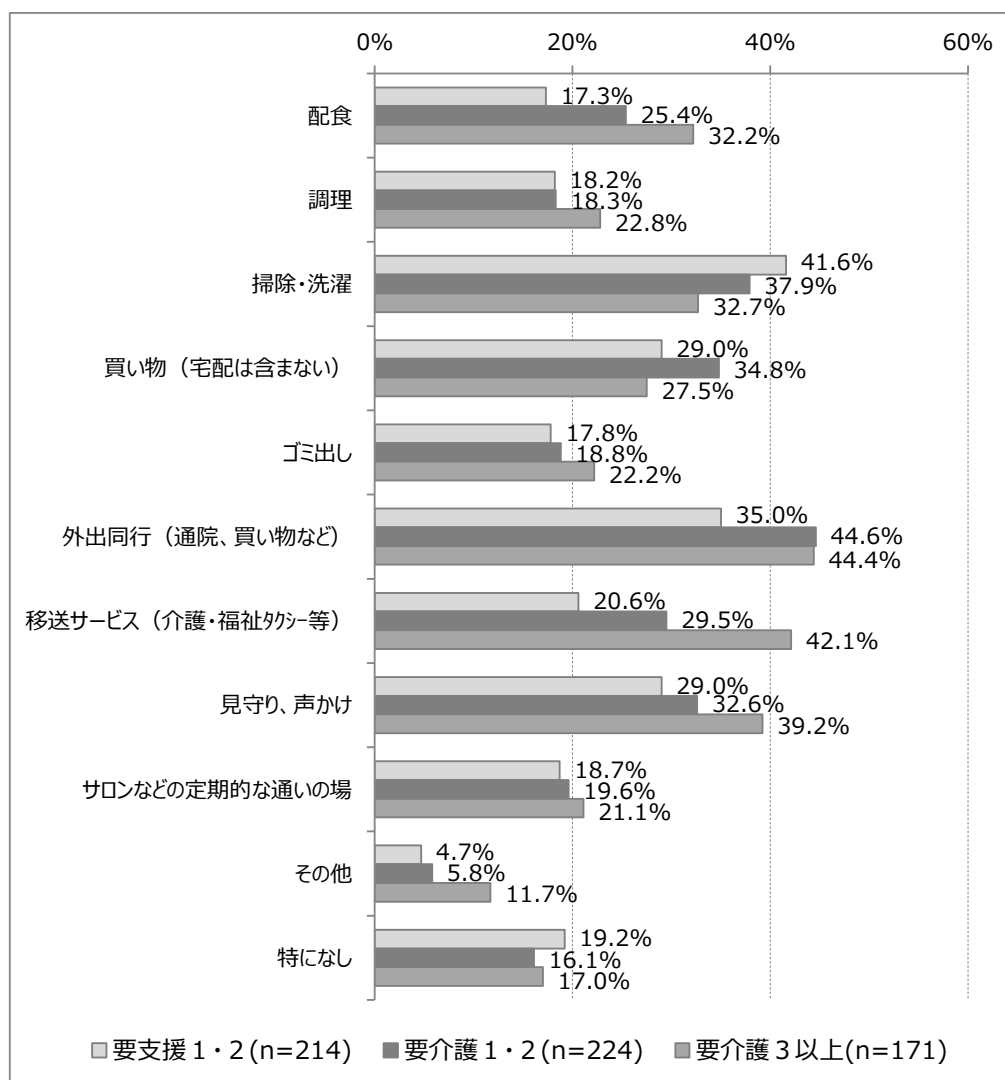


(3) 「世帯類型」×「要介護度」×「必要と感じる支援・サービス」

【要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果(要介護度)別にみると、『要支援1・2』では「掃除・洗濯」が41.6%と最も割合が高く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」が35.0%となっている。『要介護1・2』では「外出同行(通院、買い物など)」が44.6%と最も割合が高く、次いで「掃除・洗濯」が37.9%となっている。『要介護3以上』では「外出同行(通院、買い物など)」が44.4%と最も割合が高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が42.1%となっている。

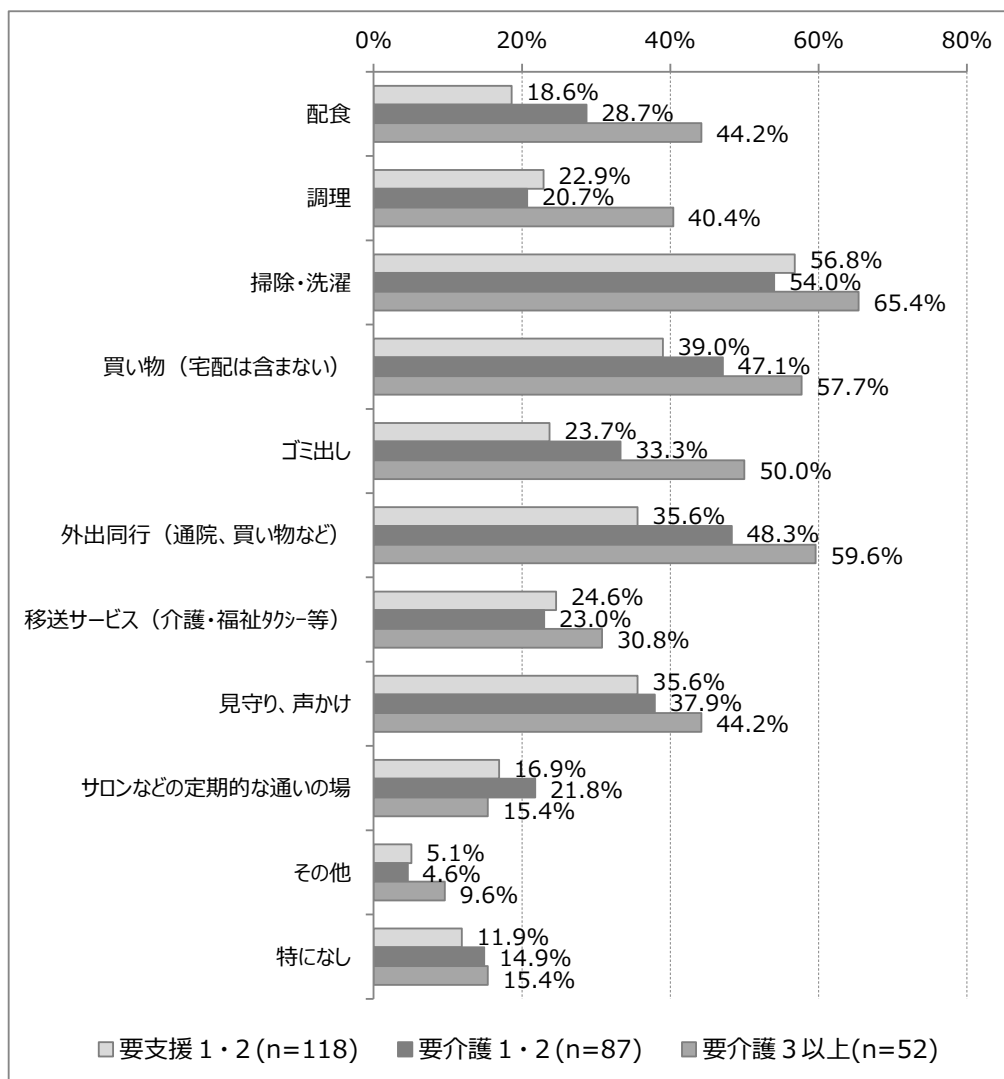
【図表 385】 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



【要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(単身世帯)】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果(要介護度)別にみると、『要支援1・2』では「掃除・洗濯」が56.8%と最も割合が高く、次いで「買い物(宅配は含まない)」が39.0%となっている。『要介護1・2』では「掃除・洗濯」が54.0%と最も割合が高く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」が48.3%となっている。『要介護3以上』では「掃除・洗濯」が65.4%と最も割合が高く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」が59.6%となっている。

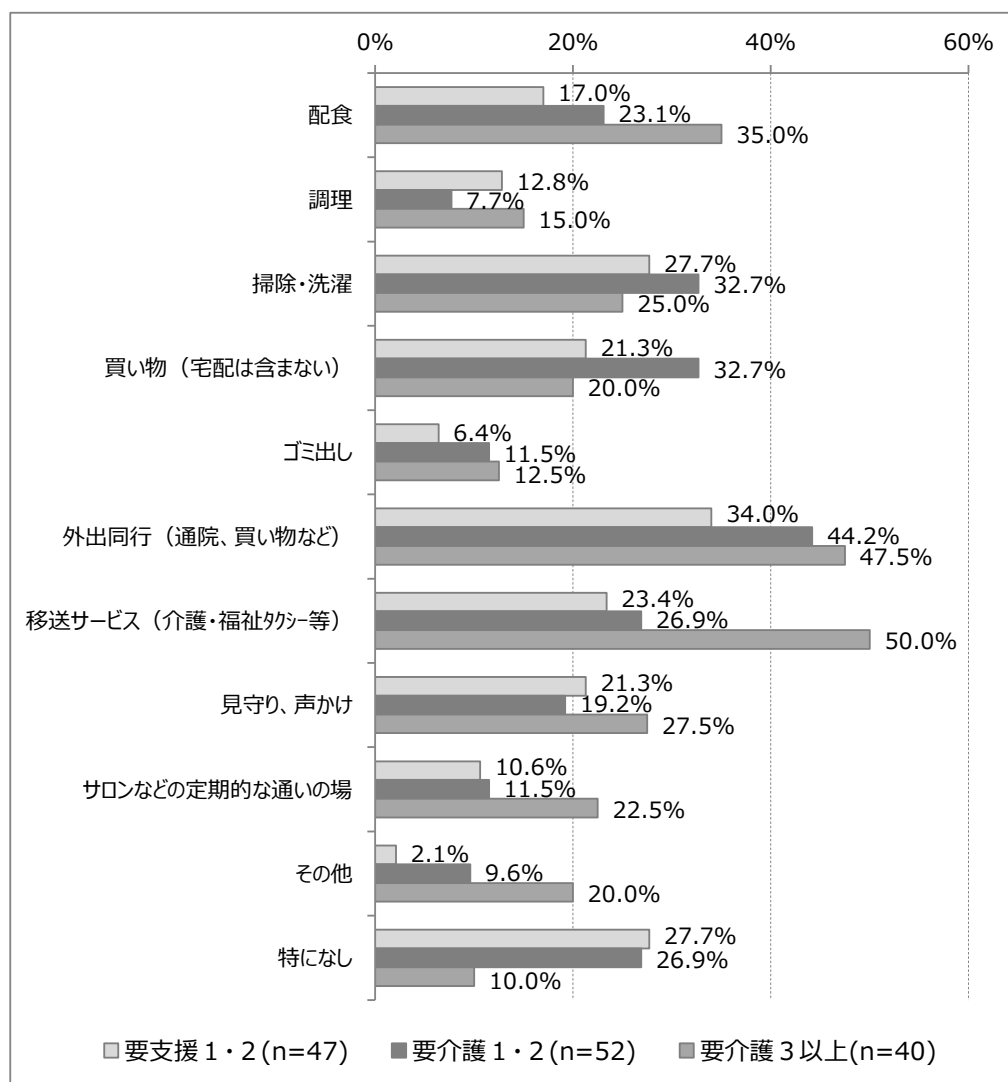
【図表 386】 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(単身世帯)



【要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(夫婦のみ世帯)】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果(要介護度)別にみると、『要支援1・2』では「外出同行(通院、買い物など)」が34.0%と最も割合が高く、次いで「掃除・洗濯」、「特になし」が27.7%となっている。『要介護1・2』では「外出同行(通院、買い物など)」が44.2%と最も割合が高く、次いで「掃除・洗濯」、「買い物(宅配は含まない)」が32.7%となっている。『要介護3以上』では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が50.0%と最も割合が高く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」が47.5%となっている。

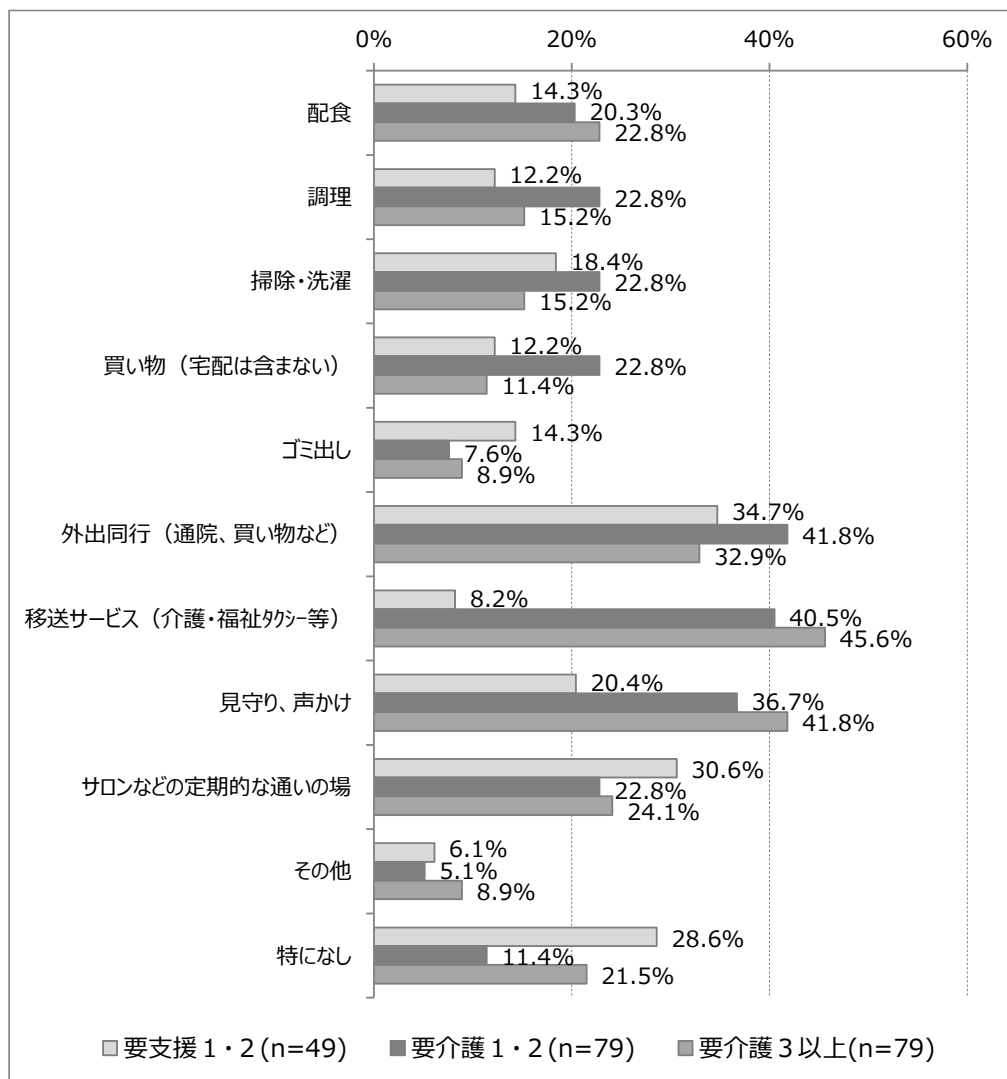
【図表 387】 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(夫婦のみ世帯)



【要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(その他世帯)】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果(要介護度)別にみると、『要支援1・2』では「外出同行(通院、買い物など)」が34.7%と最も割合が高く、次いで「サロンなどの定期的な通いの場」が30.6%となっている。『要介護1・2』では「外出同行(通院、買い物など)」が41.8%と最も割合が高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が40.5%となっている。『要介護3以上』では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が45.6%と最も割合が高く、次いで「見守り、声かけ」が41.8%となっている。

【図表 388】 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(その他世帯)



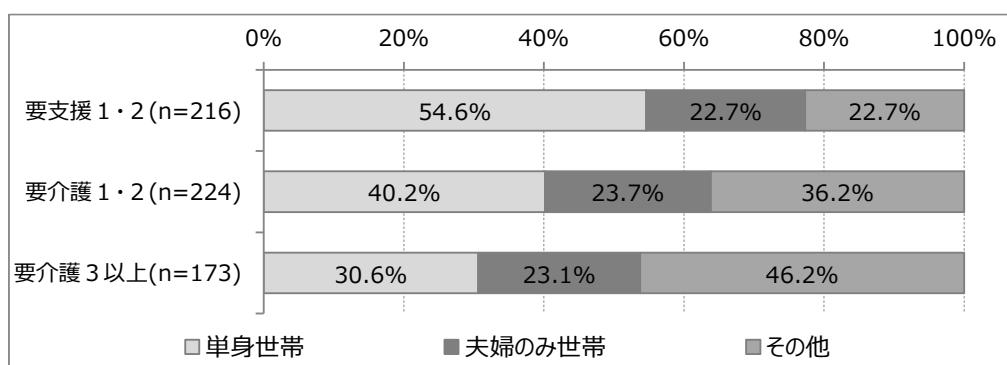
将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

(1) 基礎集計

【要介護度別・世帯類型】

世帯類型を二次判定結果(要介護度)別にみると、『要支援1・2』では「単身世帯」が54.6%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」、「その他」が22.7%となっている。『要介護1・2』では「単身世帯」が40.2%と最も割合が高く、次いで「その他」が36.2%となっている。『要介護3以上』では「その他」が46.2%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が30.6%となっている。

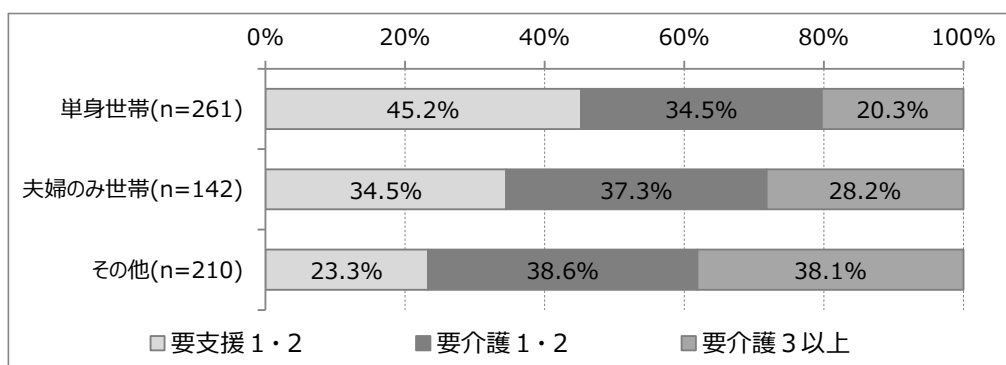
【図表 389】 要介護度別・世帯類型



【世帯類型別・要介護度】

二次判定結果(要介護度)を世帯類型別にみると、『単身世帯』では「要支援1・2」が45.2%と最も割合が高く、次いで「要介護1・2」が34.5%となっている。『夫婦のみ世帯』では「要介護1・2」が37.3%と最も割合が高く、次いで「要支援1・2」が34.5%となっている。『その他』では「要介護1・2」が38.6%と最も割合が高く、次いで「要介護3以上」が38.1%となっている。

【図表 390】 世帯類型別・要介護度

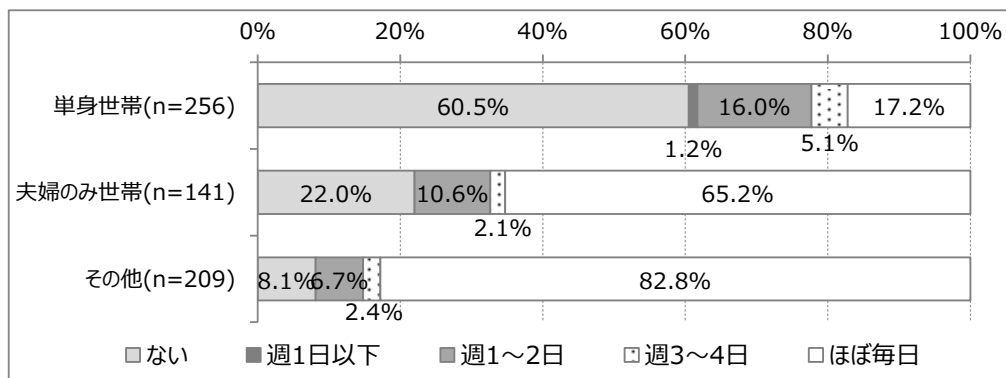


(2) 「要介護度別・世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」

【世帯類型別・家族等による介護の頻度】

ご家族等の介護の頻度を世帯類型別にみると、『単身世帯』では「ない」が60.5%と最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が17.2%となっている。『夫婦のみ世帯』では「ほぼ毎日」が65.2%と最も割合が高く、次いで「ない」が22.0%となっている。『その他』では「ほぼ毎日」が82.8%と最も割合が高く、次いで「ない」が8.1%となっている。

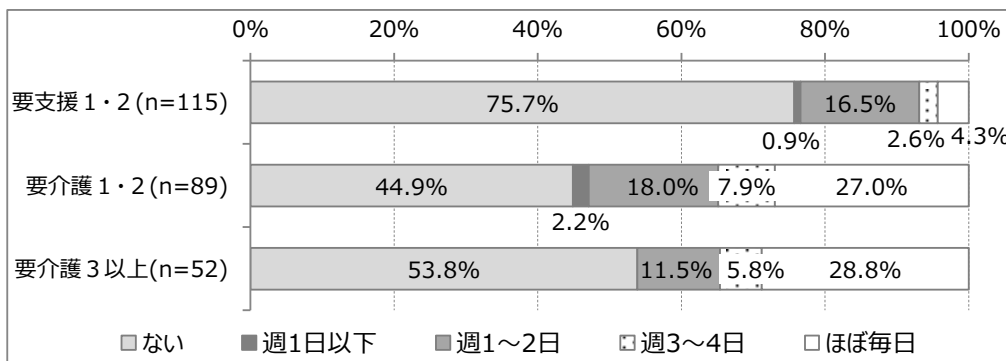
【図表 391】 世帯類型別・家族等による介護の頻度



【要介護度別・家族等による介護の頻度(単身世帯)】

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果(要介護度)別にみると、『要支援1・2』では「ない」が75.7%と最も割合が高く、次いで「週1~2日」が16.5%となっている。『要介護1・2』では「ない」が44.9%と最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が27.0%となっている。『要介護3以上』では「ない」が53.8%と最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が28.8%となっている。

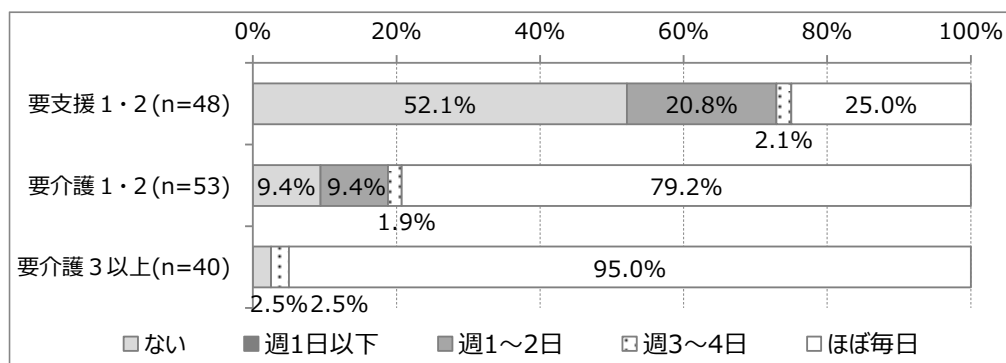
【図表 392】 要介護度別・家族等による介護の頻度 (単身世帯)



【要介護度別・家族等による介護の頻度(夫婦のみ世帯)】

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果(要介護度)別にみると、『要支援1・2』では「ない」が52.1%と最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が25.0%となっている。『要介護1・2』では「ほぼ毎日」が79.2%と最も割合が高く、次いで「ない」、「週1～2日」が9.4%となっている。『要介護3以上』では「ほぼ毎日」が95.0%と最も割合が高く、次いで「ない」、「週3～4日」が2.5%となっている。

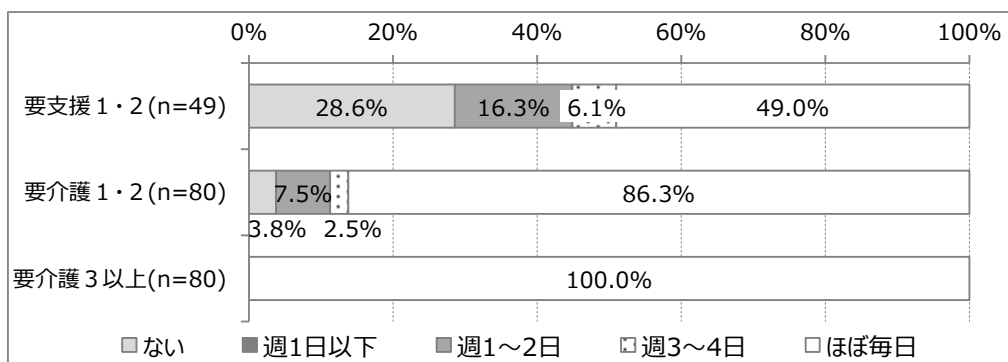
【図表 393】 要介護度別・家族等による介護の頻度（夫婦のみ世帯）



【要介護度別・家族等による介護の頻度(その他世帯)】

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果(要介護度)別にみると、『要支援1・2』では「ほぼ毎日」が49.0%と最も割合が高く、次いで「ない」が28.6%となっている。『要介護1・2』では「ほぼ毎日」が86.3%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が7.5%となっている。『要介護3以上』では「ほぼ毎日」が100.0%となっている。

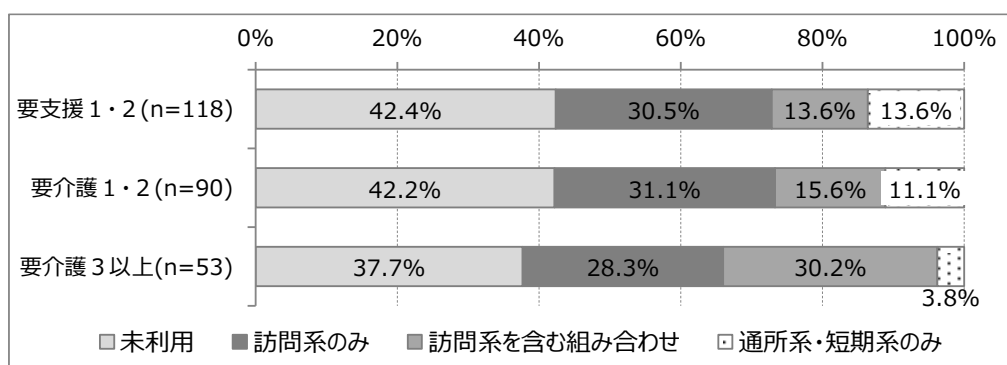
【図表 394】 要介護度別・家族等による介護の頻度（その他世帯）



(3) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」 【要介護度別・サービス利用の組み合わせ(単身世帯)】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果(要介護度)別にみると、『要支援1・2』では「未利用」が42.4%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が30.5%となっている。『要介護1・2』では「未利用」が42.2%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が31.1%となっている。『要介護3以上』では「未利用」が37.7%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が30.2%となっている。

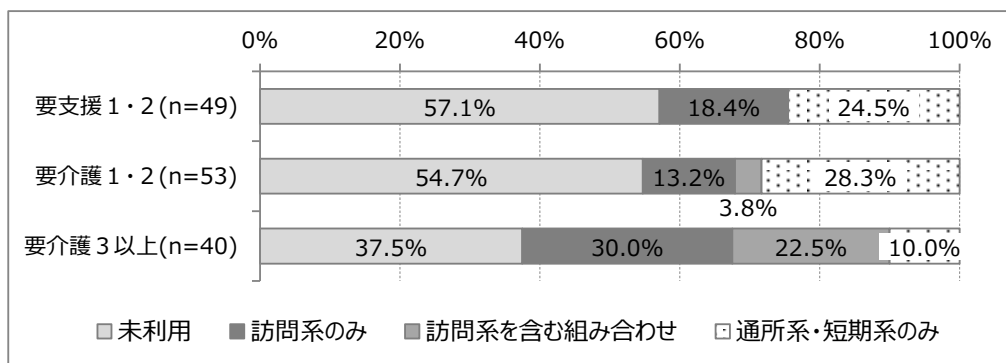
【図表 395】 要介護度別・サービス利用の組み合わせ (単身世帯)



【要介護度別・サービス利用の組み合わせ(夫婦のみ世帯)】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果(要介護度)別にみると、『要支援1・2』では「未利用」が57.1%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が24.5%となっている。『要介護1・2』では「未利用」が54.7%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が28.3%となっている。『要介護3以上』では「未利用」が37.5%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が30.0%となっている。

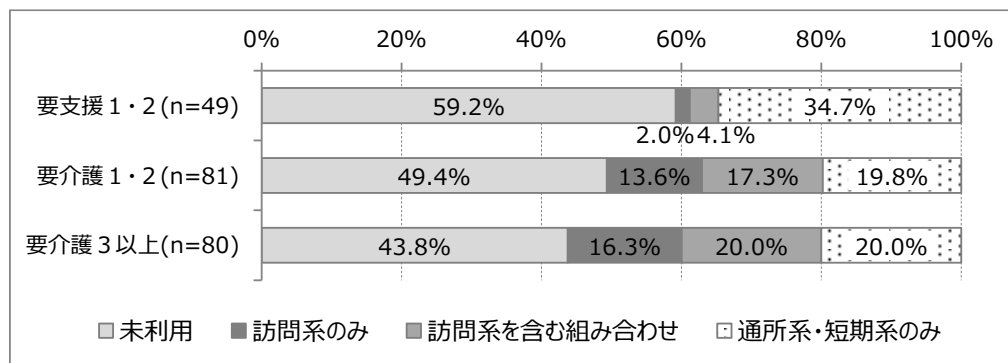
【図表 396】 要介護度別・サービス利用の組み合わせ (夫婦のみ世帯)



【要介護度別・サービス利用の組み合わせ(その他世帯)】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果(要介護度)別にみると、『要支援1・2』では「未利用」が59.2%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が34.7%となっている。『要介護1・2』では「未利用」が49.4%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が19.8%となっている。『要介護3以上』では「未利用」が43.8%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が20.0%となっている。

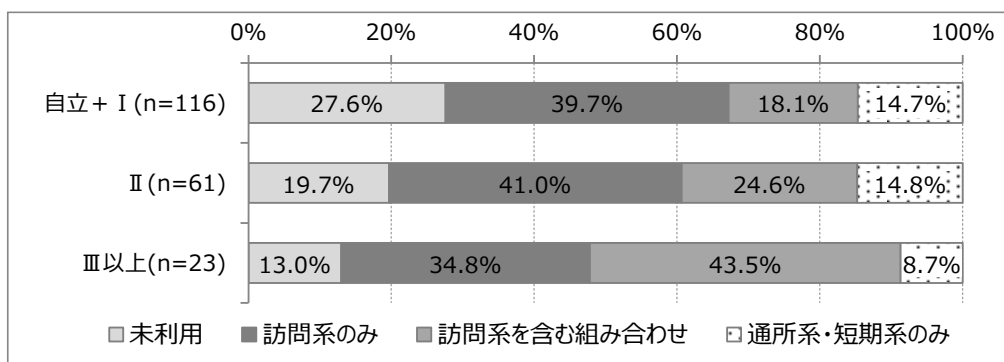
【図表 397】 要介護度別・サービス利用の組み合わせ (その他世帯)



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ(単身世帯)】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、『自立+I』では「訪問系のみ」が39.7%と最も割合が高く、次いで「未利用」が27.6%となっている。『II』では「訪問系のみ」が41.0%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が24.6%となっている。『III以上』では「訪問系を含む組み合わせ」が43.5%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が34.8%となっている。

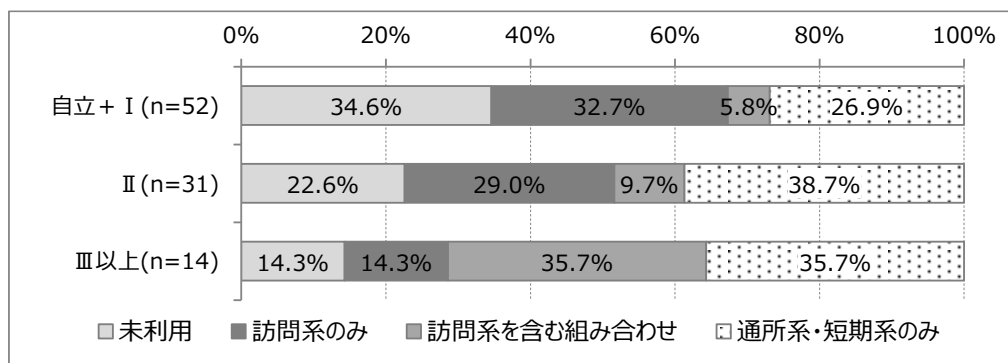
【図表 398】 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ (単身世帯)



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ(夫婦のみ世帯)】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、『自立+ I』では「未利用」が34.6%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が32.7%となっている。『II』では「通所系・短期系のみ」が38.7%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が29.0%となっている。『III以上』では「訪問系を含む組み合わせ」が35.7%と最も割合が高く、次いで「未利用」、「訪問系のみ」が14.3%となっている。

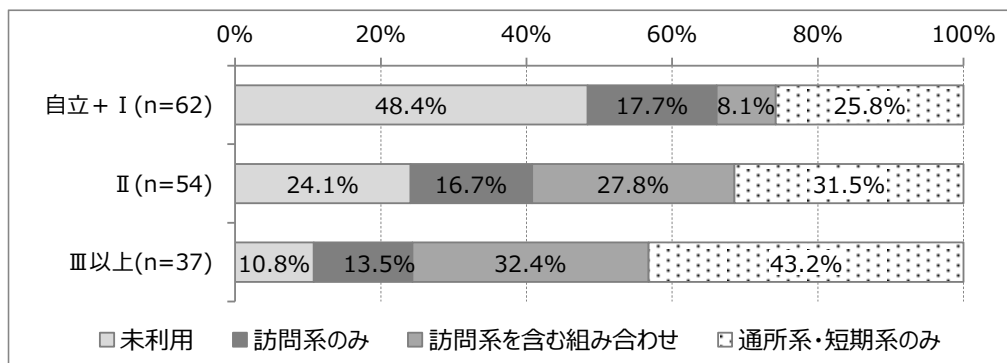
【図表 399】 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ (夫婦のみ世帯)



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ(その他世帯)】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、『自立+ I』では「未利用」が48.4%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が25.8%となっている。『II』では「通所系・短期系のみ」が31.5%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が27.8%となっている。『III以上』では「通所系・短期系のみ」が43.2%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が32.4%となっている。

【図表 400】 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ (その他世帯)

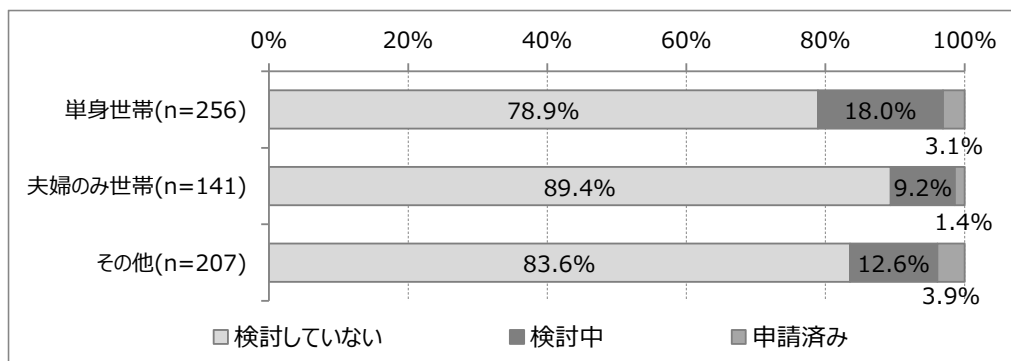


(4) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」

【世帯類型別・施設等検討の状況(全要介護度)】

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、『単身世帯』では「検討していない」が78.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が18.0%となっている。『夫婦のみ世帯』では「検討していない」が89.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が9.2%となっている。『その他』では「検討していない」が83.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が12.6%となっている。

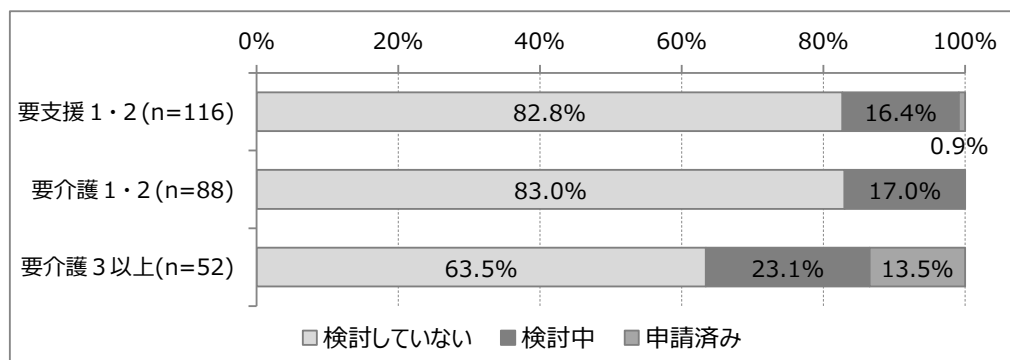
【図表 401】 世帯類型別・施設等検討の状況（全要介護度）



【要介護度別・施設等検討の状況(単身世帯)】

施設等の検討状況を二次判定結果(要介護度)別にみると、『要支援1・2』では「検討していない」が82.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が16.4%となっている。『要介護1・2』では「検討していない」が83.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が17.0%となっている。『要介護3以上』では「検討していない」が63.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が23.1%となっている。

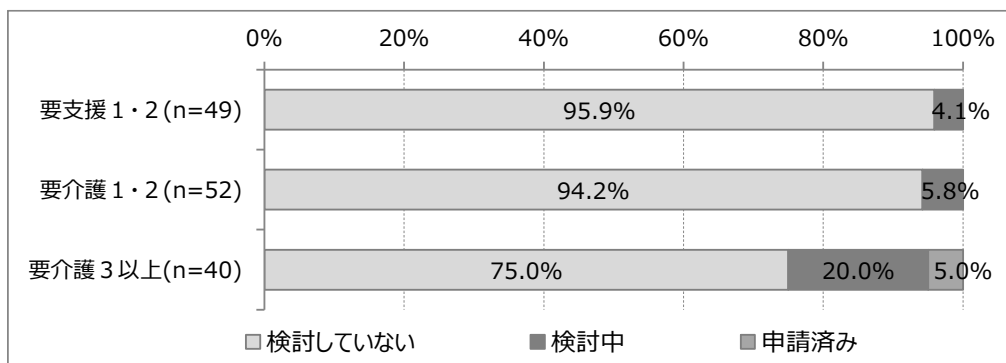
【図表 402】 要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯）



【要介護度別・施設等検討の状況(夫婦のみ世帯)】

施設等の検討状況を二次判定結果(要介護度)別にみると、『要支援1・2』では「検討していない」が95.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が4.1%となっている。『要介護1・2』では「検討していない」が94.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が5.8%となっている。『要介護3以上』では「検討していない」が75.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が20.0%となっている。

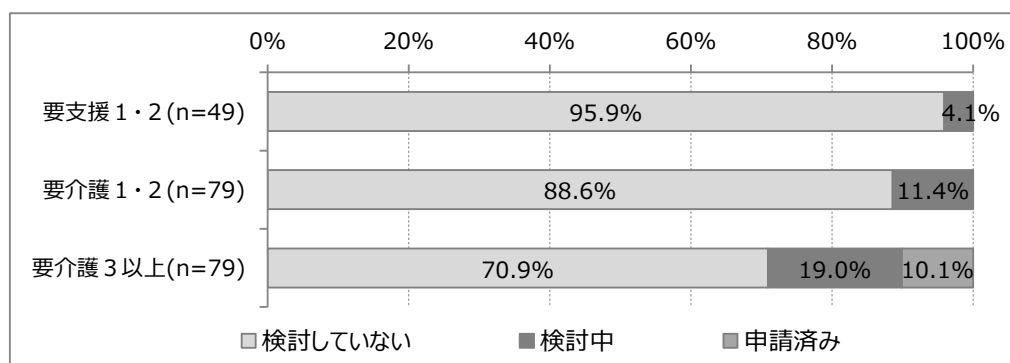
【図表 403】 要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）



【要介護度別・施設等検討の状況(その他世帯)】

施設等の検討状況を二次判定結果(要介護度)別にみると、『要支援1・2』では「検討していない」が95.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が4.1%となっている。『要介護1・2』では「検討していない」が88.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が11.4%となっている。『要介護3以上』では「検討していない」が70.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が19.0%となっている。

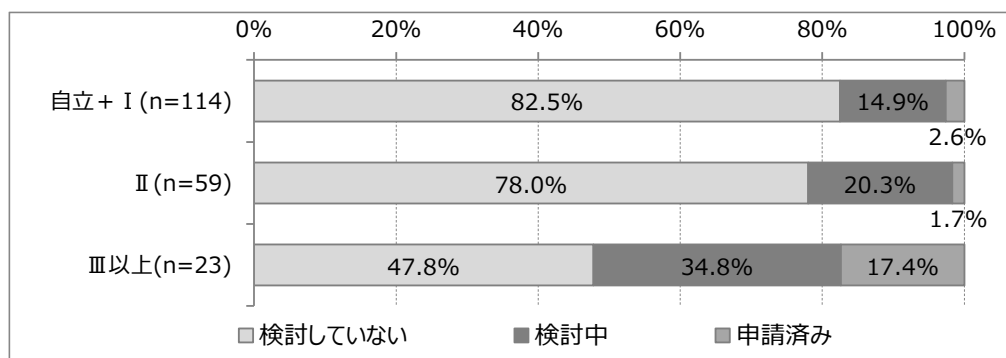
【図表 404】 要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯）



【認知症自立度別・施設等検討の状況(単身世帯)】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、『自立+ I』では「検討していない」が82.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が14.9%となっている。『II』では「検討していない」が78.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が20.3%となっている。『III以上』では「検討していない」が47.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が34.8%となっている。

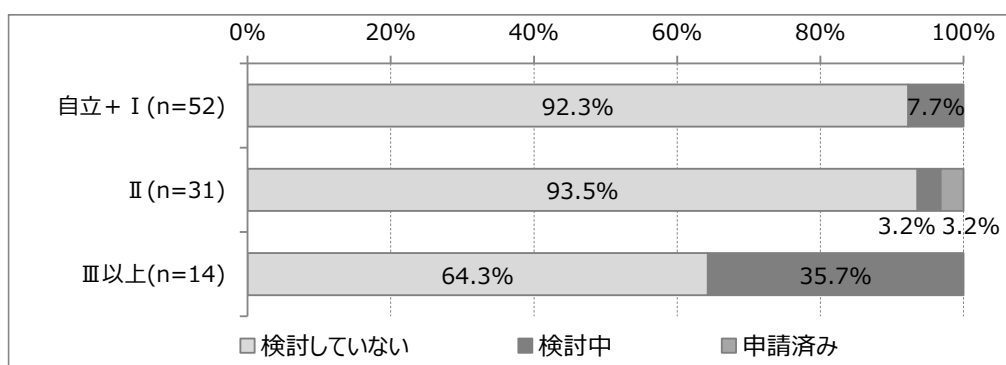
【図表 405】 認知症自立度別・施設等検討の状況 (単身世帯)



【認知症自立度別・施設等検討の状況(夫婦のみ世帯)】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、『自立+ I』では「検討していない」が92.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が7.7%となっている。『II』では「検討していない」が93.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が3.2%となっている。『III以上』では「検討していない」が64.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が35.7%となっている。

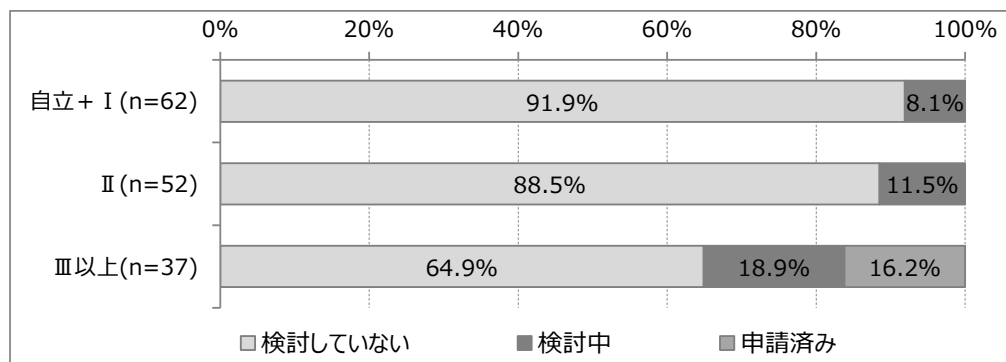
【図表 406】 認知症自立度別・施設等検討の状況 (夫婦のみ世帯)



【認知症自立度別・施設等検討の状況(その他の世帯)】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、『自立+ I』では「検討していない」が91.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が8.1%となっている。『II』では「検討していない」が88.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が11.5%となっている。『III以上』では「検討していない」が64.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が18.9%となっている。

【図表 407】 認知症自立度別・施設等検討の状況（その他の世帯）

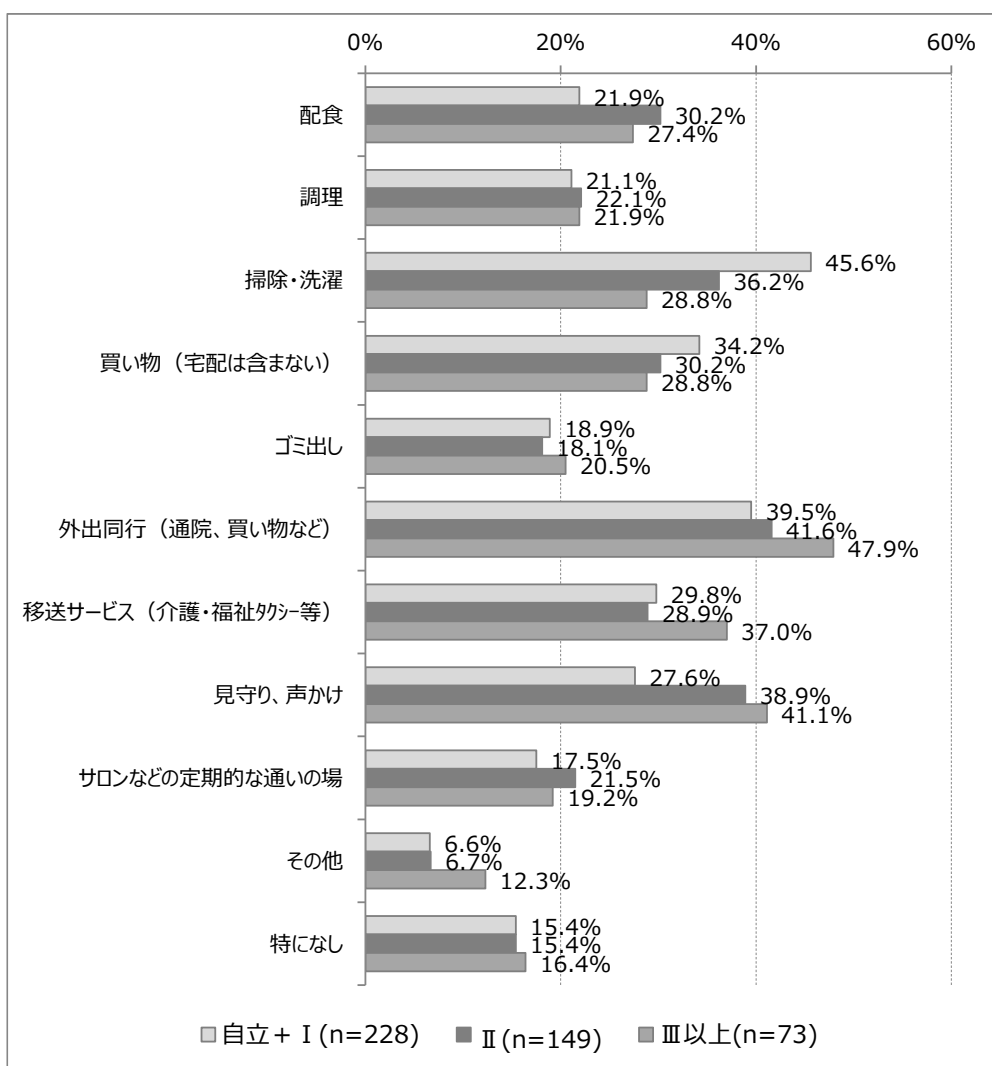


サービス未利用の理由など

(1) 認知症自立度別の今後の在宅生活に必要と感じる支援・サービス
 【認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、『自立+ I』では「掃除・洗濯」が45.6%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が39.5%となっている。『II』では「外出同行（通院、買い物など）」が41.6%と最も割合が高く、次いで「見守り、声かけ」が38.9%となっている。『III以上』では「外出同行（通院、買い物など）」が47.9%と最も割合が高く、次いで「見守り、声かけ」が41.1%となっている。

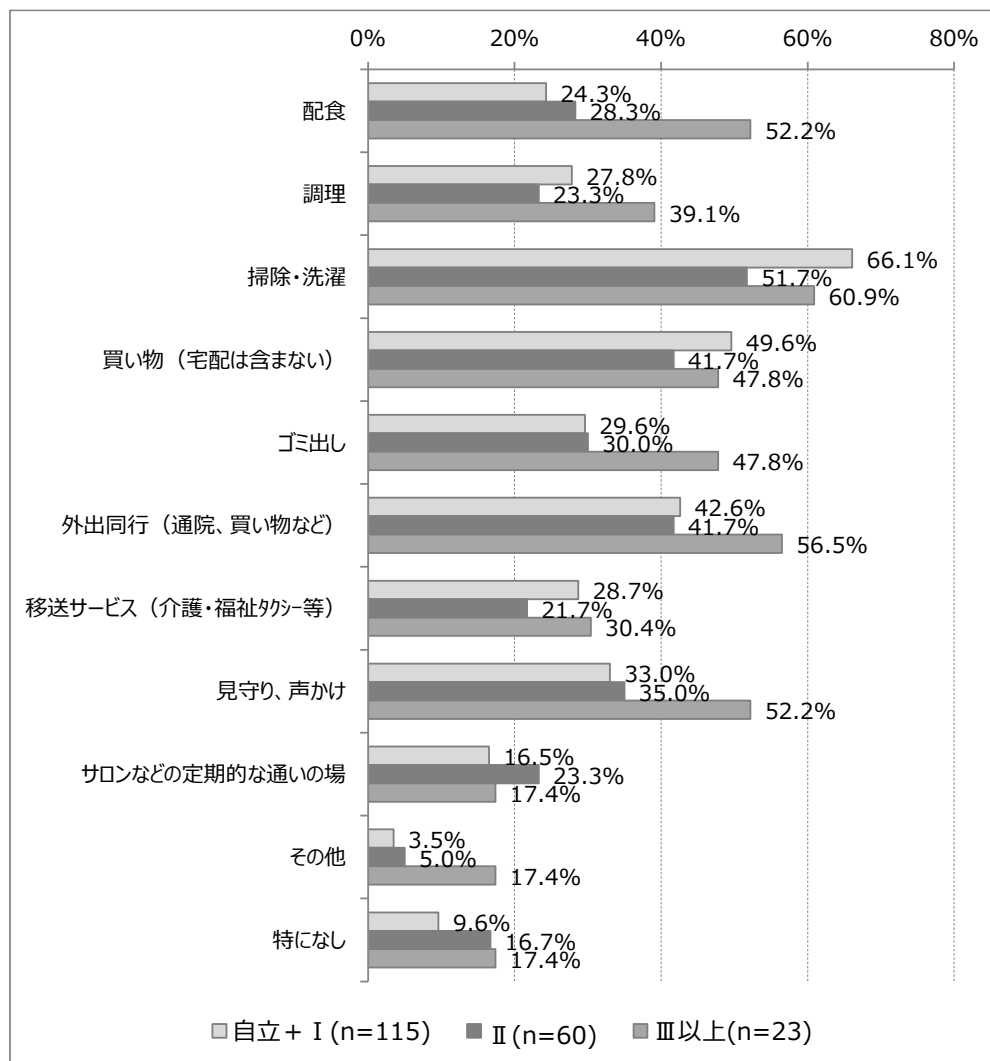
【図表 408】 認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



【認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(単身世帯)】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、『自立+ I』では「掃除・洗濯」が66.1%と最も割合が高く、次いで「買い物(宅配は含まない)」が49.6%となっている。『II』では「掃除・洗濯」が51.7%と最も割合が高く、次いで「買い物(宅配は含まない)」、「外出同行(通院、買い物など)」が41.7%となっている。『III以上』では「掃除・洗濯」が60.9%と最も割合が高く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」が56.5%となっている。

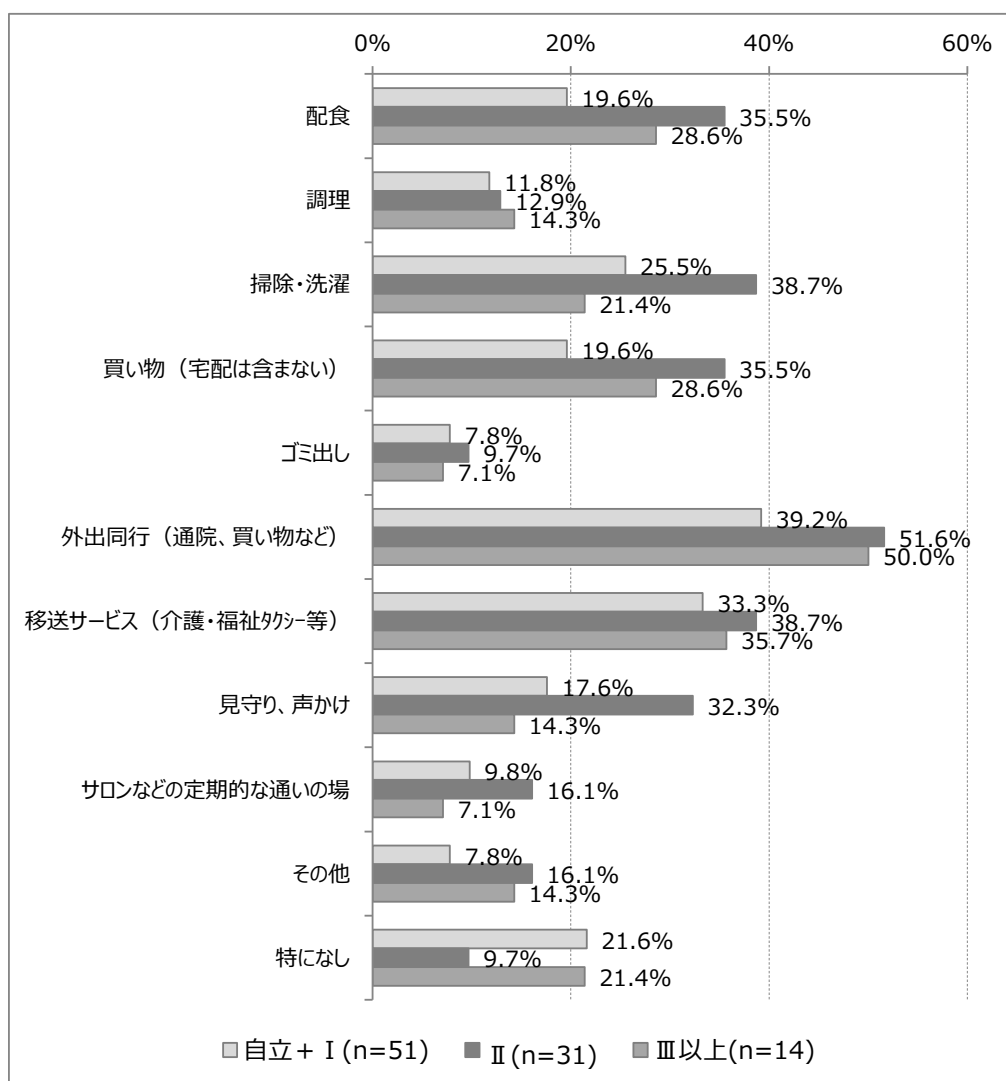
【図表 409】 認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(単身世帯)



【認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(夫婦のみ世帯)】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、『自立+ I』では「外出同行（通院、買い物など）」が39.2%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が33.3%となっている。『II』では「外出同行（通院、買い物など）」が51.6%と最も割合が高く、次いで「掃除・洗濯」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が38.7%となっている。『III以上』では「外出同行（通院、買い物など）」が50.0%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が35.7%となっている。

【図表 410】 認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）



【認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(その他世帯)】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、『自立+ I』では「外出同行（通院、買い物など）」が34.4%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が29.5%となっている。『II』では「見守り、声かけ」が48.1%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が35.2%となっている。『III以上』では「見守り、声かけ」が44.4%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が41.7%となっている。

【図表 411】 認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）

